

2023年12月26日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

高校生の意識に関する調査 2023

～知ってる? 「蛙化現象」 女子高校生の3割が経験、男子高校生の約2倍に～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、15歳～18歳の高校生の男女4,500名（男性2,250名 女性2,250名）を対象に、「高校生の意識に関する調査2023」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆ 高校生の1カ月間の収入と支出

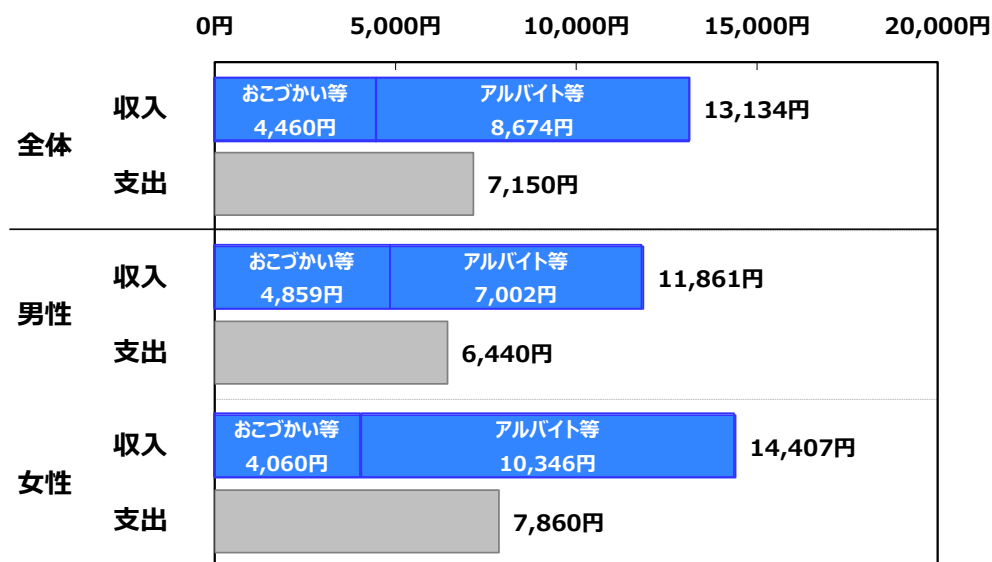
収入は平均13,134円、支出は平均7,150円

1カ月間の収入と支出を聞くと、収入は平均13,134円、支出は平均7,150円でした。

収入の内訳をみると、おこづかい等が平均4,460円、アルバイト等が平均8,674円という結果に。

男女別にみると、男性では収入が平均11,861円、支出が平均6,440円、女性では収入が平均14,407円、支出が平均7,860円でした。

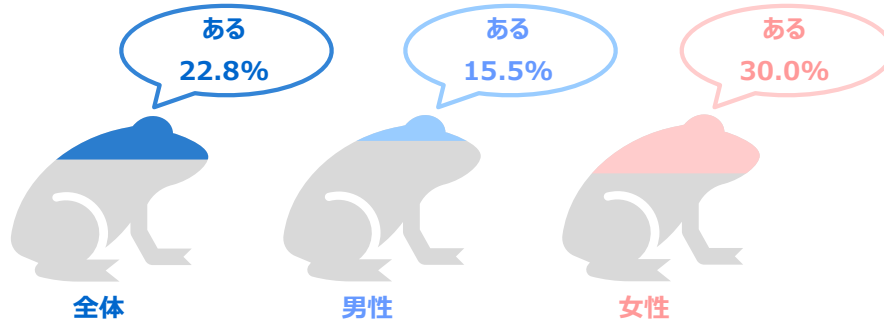
Q. 1カ月間の収入と支出は？（平均額）



◆「これまでに、蛙化現象を経験したことがある」女性の30%、男性の約2倍に

これまでに、蛙化現象（好きな人のささいな言動で好きな気持ちが冷めてしまうこと）を経験したことがあるか聞いたところ、経験したことがある人の割合は22.8%。男女別にみると、女性では30.0%となり、男性（15.5%）の約2倍に。男性は、幻滅されないよう、好きな女性に対する言動や振る舞いには気をつけたほうがよいのかもしれませんが。

Q. これまでに、蛙化現象を経験したことがある？



◆「将来、結婚したい」75%、結婚したい年齢は平均25.2歳

将来、結婚したいと思うか聞いたところ、結婚したいと思う人の割合は74.6%で、結婚したいと思う年齢は平均25.2歳。男女別にみると、結婚したいと思う年齢は、男性が平均25.4歳、女性が平均25.1歳でした。厚生労働省発表の令和4年（2022）人口動態統計月報年計（概数）の概況（※）では平均初婚年齢は男性31.1歳、女性29.7歳となっており、今の高校生は統計データの平均よりも若い年齢を結婚適齢期と考えているようです。

※<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai22/dl/gaikyouR4.pdf>

Q. 将来、結婚したいと思う？



◆来年ブレイクすると思うお笑い芸人 1位「やす子さん」2位「かまいたち」「千鳥」

来年ブレイクすると思うお笑い芸人を聞くと、元自衛隊員で自身の経歴を活かしたネタが人気の「やす子さん」が1位となり、2位「かまいたち」「千鳥」、4位「粗品さん」、5位「ジェラードン」という結果になりました。

Q. 来年ブレイクすると思うお笑い芸人は？



調査結果 index

◆ 普段の楽しみについて

……p.5

・**高校生の普段の楽しみ** 1位「友人との交流」2位「SNS」3位「ゲーム」

男性では「ゲーム」、女性では「SNS」が1位

◆ 悩みについて

……p.6~7

・**高校生が現在悩んでいること** いずれの学年でも1位は「お金」

・現在悩みがある高校生の28%が「**悩みを誰にも相談していない**」と回答

・**悩みを相談している相手** 1位「友人」2位「母親」3位「学校の先生」

男性では「父親」、女性では「兄弟姉妹」が3位

◆ マネー事情について

……p.8~9

・**高校生の1カ月間の収入** 平均13,134円 内訳は「おこづかい」4,460円、「アルバイト等自分の稼ぎ」8,674円

・**高校生の1カ月間の支出** 平均7,150円

◆ メディアの利用について

……p.10~11

・**ニュースを知るために欠かせないメディア** 1位「SNS」2位「テレビ」3位「動画共有サイト・アプリ」

・**勉強に関する情報を得るために欠かせないメディア** 1位「動画共有サイト・アプリ」2位「SNS」3位「Webサイト」

・**流行を知るために欠かせないメディア** 「SNS」と「動画共有サイト・アプリ」が突出、女性では「SNS」が86%に

◆ 隠し事について

……p.12

・「**父親に隠し事をしている**」 42%、隠し事の1位は「恋愛」、隠し事をしている理由の1位は「話すのがめんどくさい」

・「**母親に隠し事をしている**」 40%、隠し事の1位は「恋愛」、隠し事をしている理由の1位は「話すのが恥ずかしい」

◆ 恋愛・結婚観について

……p.13~16

・「**これまでに、恋人がいたことがある**」 52%

・「**現在、恋愛をしている**」 43%、「**現在、恋人がいる**」 18%

・「**これまでに、蛙化現象を経験したことがある**」 女性の30%、男性の約2倍に

・「**将来、結婚したい**」 75%、結婚したい年齢は平均25.2歳

・「**将来、子どもをほしいと思う**」 69%

・**将来、子どもをほしいと思う人の割合が高い都道府県** 1位「熊本県」2位「宮崎県」「沖縄県」

◆ 友だちについて

……p.17~19

・「**“友だち”は何人いる？**」 平均81.7人、男性では平均99.2人、女性では平均64.1人

・「**親友がいる**」 85%、平均4.7人

・「**本当は苦手な友だちがいる**」 64%、平均5.0人

・「**間違いを指摘できる友だちがいる**」 89%、平均14.8人

・「**SNSだけでつながっている友だちがいる**」 51%、平均22.7人

・「**恋人より優先したい友だちがいる**」 75%、平均6.8人

・“親友”とはどのような友だちだと思う？

1位「素の自分でいられる」2位「くだらないことも一緒に楽しめる」3位「本音で話せる」

◆学校生活について

……p.20～28

・最も好きな教科 1位「保健体育」2位「数学」3位「地理・歴史」

・最も嫌いな教科 1位「数学」2位「外国語」3位「国語」

・最も大人になってから役立つと思う教科 1位「外国語」2位「国語」3位「家庭科」

・校内で好きな場所 「教室」がダントツ、2位「体育館」3位「トイレ」「図書室・図書館」

男性では「体育館」、女性では「図書室・図書館」が2位

・自身の高校にある校則 1位「髪染めの禁止」2位「メイクの禁止」3位「アルバイトの禁止・制限」

・自身の高校にある校則のうち、なくしてほしいものは？

1位「スマホの持ち込み禁止」2位「アルバイトの禁止・制限」3位「登下校時の寄り道禁止」

「コート・カーディガンの禁止・色指定」「スカートの長さ指定」「靴下の色・長さ指定」「カバンの指定」も上位に

・高校生が考える理想の先生像

1位「授業がわかりやすい」2位「生徒とのコミュニケーションが上手」3位「生徒の気持ちがわかる」

・先生から言われて最もうれしかったコトバ

「頑張ったね・頑張っているね」がダントツ、2位「すごいね」3位「頑張ってる」

男性では「ありがとう」、女性では「すごいね」が2位

・高校の“先生あるある” 1位「生徒に陰でモノマネされる」2位「声が隣の教室まで聞こえる」

3位「チャイムが鳴ったあとも授業を続ける」4位「授業中の雑談が長すぎる」5位「男女で態度がコロッと変わる」

◆理想の親のイメージについて

……p.29

・父親にしたい有名人 1位「木村拓哉さん」2位「ムロツヨシさん」3位「吉沢亮さん」

・母親にしたい有名人 「橋本環奈さん」がダントツ、2位「新垣結衣さん」3位「広瀬すずさん」「今田美桜さん」

◆来年の流行の予想について

……p.30

・来年ブレイクすると思うお笑い芸人 1位「やす子さん」2位「かまいたち」「千鳥」

・来年ブレイクすると思う歌手・アーティスト 1位「Adoさん」2位「Mrs. GREEN APPLE」3位「YOASOBI」

・来年流行ると思うアニメ・マンガ 1位「鬼滅の刃」2位「呪術廻戦」3位「ONE PIECE」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆ 普段の楽しみについて

・高校生の普段の楽しみ 1位「友人との交流」2位「SNS」3位「ゲーム」

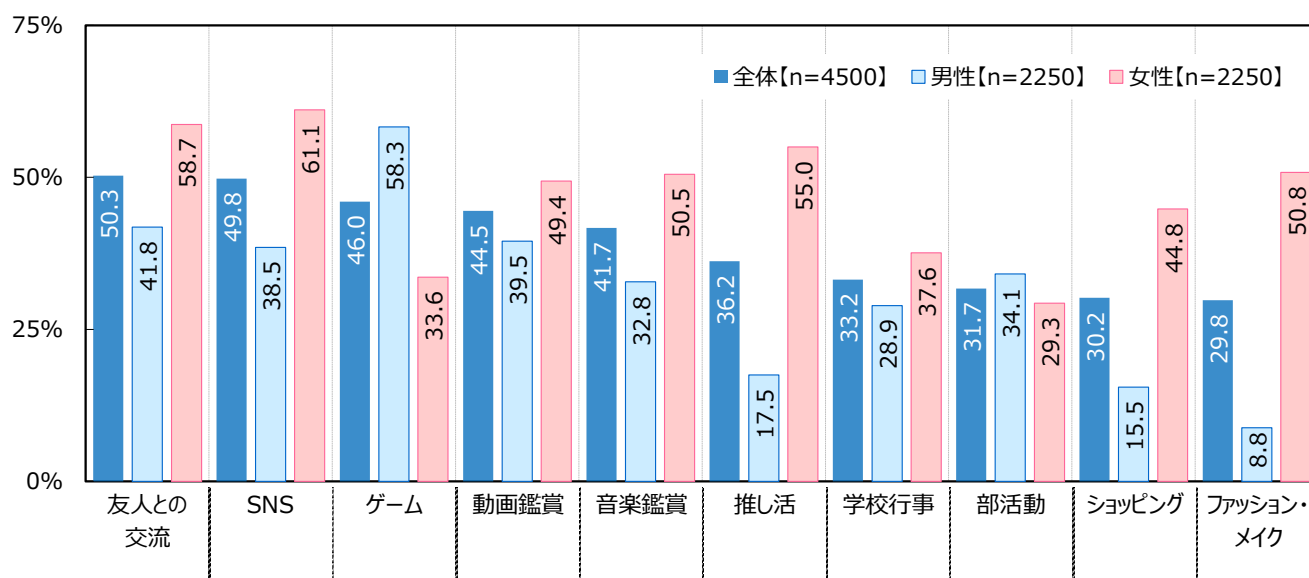
男性では「ゲーム」、女性では「SNS」が1位

全国の15歳～18歳の高校生の男女4,500名（全回答者）に対し、普段のくらしについて質問しました。

まず、全回答者（4,500名）に、普段、どのようなことを楽しいと感じているか聞いたところ、「友人との交流」（50.3%）が最も高くなりました。仲の良い友だちと充実した時間を過ごしている人が多いのではないのでしょうか。次いで高かったのは、「SNS」（49.8%）、「ゲーム」（46.0%）、「動画鑑賞」（44.5%）、「音楽鑑賞」（41.7%）でした。

男女別にみると、男性では1位「ゲーム」、2位「友人との交流」、3位「動画鑑賞」、女性では1位「SNS」、2位「友人との交流」、3位「推し活」でした。

◆ 普段、どのようなことを楽しいと感じているか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆悩みについて

・高校生が現在悩んでいること いずれの学年でも1位は「お金」

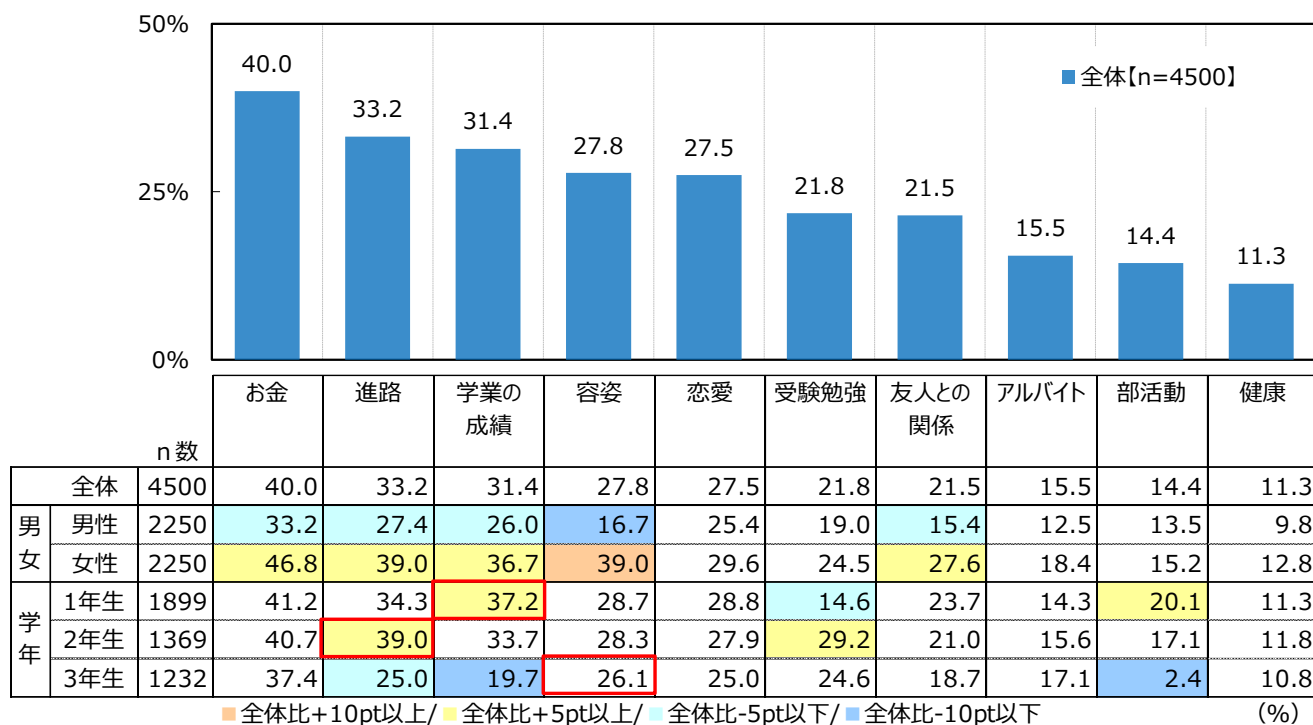
現在抱えている悩みや相談相手について質問しました。

全回答者（4,500名）に、現在、どのようなことについて悩んでいるか聞いたところ、「お金」（40.0%）が最も高くなり、「進路」（33.2%）、「学業の成績」（31.4%）、「容姿」（27.8%）、「恋愛」（27.5%）が続きました。

男女別にみると、「お金」（男性33.2%、女性46.8%）や「進路」（男性27.4%、女性39.0%）、「学業の成績」（男性26.0%、女性36.7%）、「容姿」（男性16.7%、女性39.0%）は、男性と比べて女性のほうが10ポイント以上高くなりました。

学年別にみると、いずれの学年でも1位は「お金」となり、1年生では「学業の成績」が2位、2年生では「進路」が2位、3年生では「容姿」が2位でした。

◆現在、どのようなことについて悩んでいるか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



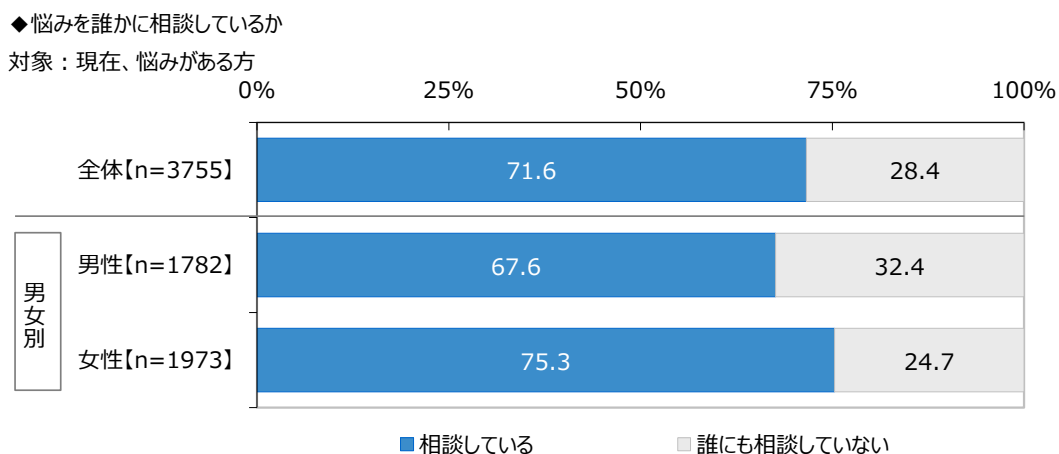
・現在悩みがある高校生の28%が「悩みを誰にも相談していない」と回答

・悩みを相談している相手 1位「友人」2位「母親」3位「学校の先生」

男性では「父親」、女性では「兄弟姉妹」が3位

現在、悩みがある方（3,755名）に、悩みを誰かに相談しているか聞いたところ、「相談している」は71.6%、「誰にも相談していない」は28.4%となりました。

男女別にみると、「誰にも相談していない」と回答した人の割合は、男性では32.4%と、女性（24.7%）と比べて7.7ポイント高くなりました。男性のほうが悩みを抱え込んでしまう傾向にあるのではないのでしょうか。

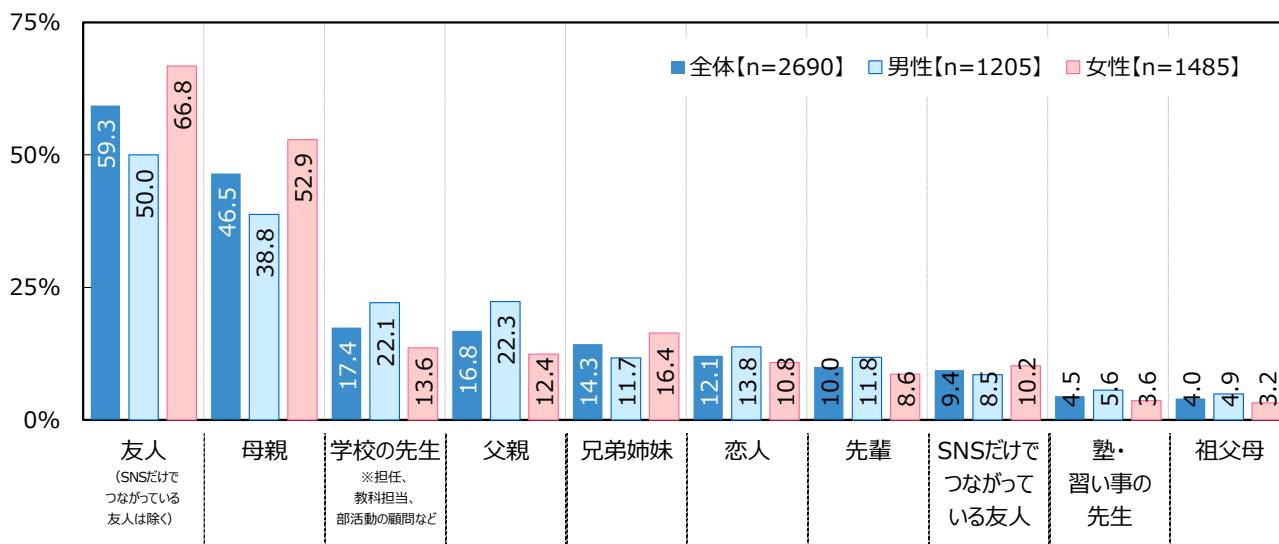


悩みを誰かに相談している方（2,690名）に、悩みを誰に相談しているか聞いたところ、「友人（SNSだけでつながっている友人は除く）」（59.3%）が最も高くなり、「母親」（46.5%）、「学校の先生 ※担任、教科担当、部活動の顧問など」（17.4%）、「父親」（16.8%）、「兄弟姉妹」（14.3%）が続きました。「父親」は「母親」の半分以下の割合になっていますが、コロナ禍以降の在宅勤務の増加に伴い、父親と子どものコミュニケーション頻度が上がり、父親に悩みを打ち明けるケースも今後増えていくのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性では「父親」が3位、女性では「兄弟姉妹」が3位でした。

◆悩みを誰に相談しているか（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：現在悩みがあり、悩みを誰かに相談している方



◆マネー事情について

・高校生の1カ月間の収入 平均 13,134円 内訳は「おこづかい」4,460円、「アルバイト等自分の稼ぎ」8,674円

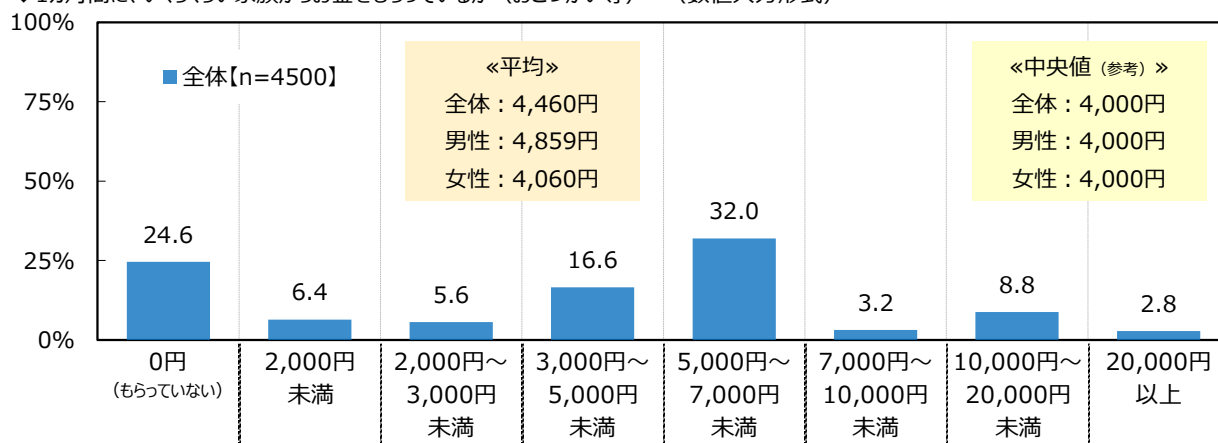
・高校生の1カ月間の支出 平均 7,150円

収入と支出について質問しました。

全回答者（4,500名）に、1カ月間に、いくらかい家族からお金をもらっているか（おこづかい等）聞いたところ、「0円（もらっていない）」（24.6%）や「3,000円～5,000円未満」（16.6%）、「5,000円～7,000円未満」（32.0%）に回答が分かれ、平均は4,460円でした。

男女別にみると、1カ月間に家族からもらっているお金の平均は、男性では4,859円と、女性（4,060円）と比べて799円多くなりました。

◆1カ月間に、いくらかい家族からお金をもらっているか（おこづかい等）（数値入力形式）

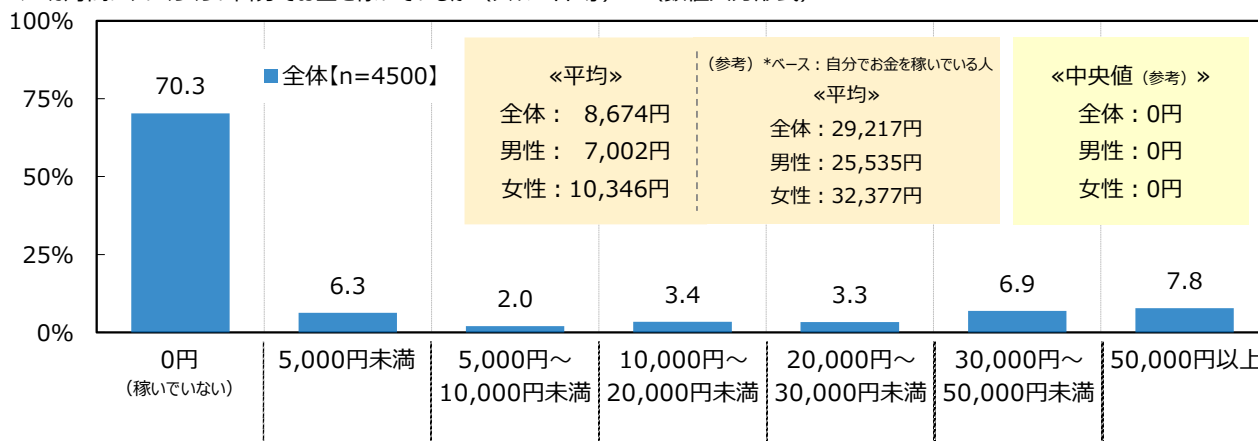


1カ月間に、いくらかい自分でお金を稼いでいるか（アルバイト等）聞いたところ、「0円（稼いでいない）」（70.3%）が特に高くなり、「5,000円未満」（6.3%）や「30,000円～50,000円未満」（6.9%）、「50,000円以上」（7.8%）にも回答がみられ、平均は8,674円でした。

男女別にみると、1カ月間に自分で稼いでいるお金の平均は、女性では10,346円と、男性（7,002円）と比べて3,344円多くなりました。

なお、自分でお金を稼いでいる人の平均（0円を除いて算出）をみると、全体では29,217円、男性では25,535円、女性では32,377円でした。

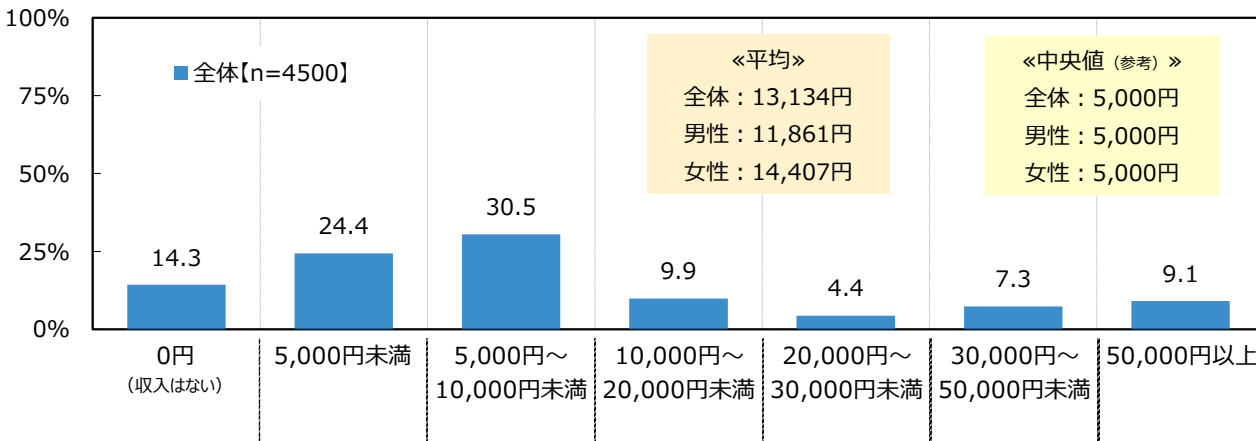
◆1カ月間に、いくらかい自分でお金を稼いでいるか（アルバイト等）（数値入力形式）



ここで、1 カ月間の収入（家族からおこづかいやアルバイト代等の合計）をみると、「5,000 円未満」（24.4%）や「5,000 円～10,000 円未満」（30.5%）に回答が集まり、平均は 13,134 円でした。

男女別にみると、1 カ月間の収入の平均は、女性では 14,407 円と、男性（11,861 円）と比べて 2,546 円多くなりました。

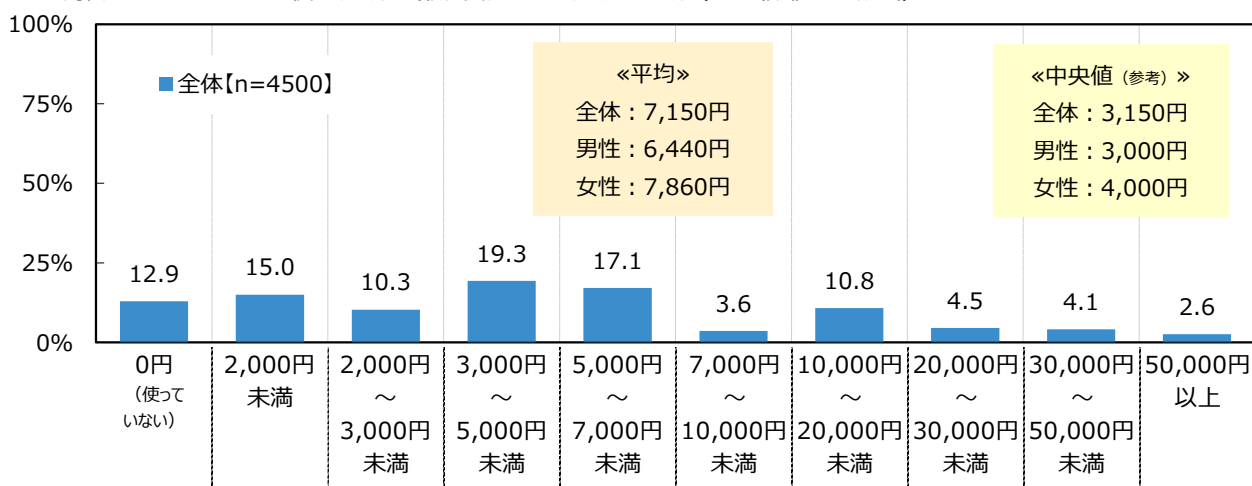
◆1カ月間の収入（家族からおこづかいやアルバイト代等の合計）



他方、1 カ月間に、いくらのお金を使っているか聞いたところ、「2,000 円未満」（15.0%）や「3,000 円～5,000 円未満」（19.3%）、「5,000 円～7,000 円未満」（17.1%）などに回答が分かれ、平均は 7,150 円でした。

男女別にみると、1 カ月間に使っているお金の平均は、女性では 7,860 円と、男性（6,440 円）と比べて 1,420 円多くなりました。

◆1カ月間に、いくらのお金を使っているか（親が支払いをしているものは除く）（数値入力形式）



◆メディアの利用について

・ニュースを知るために欠かせないメディア 1位「SNS」2位「テレビ」3位「動画共有サイト・アプリ」

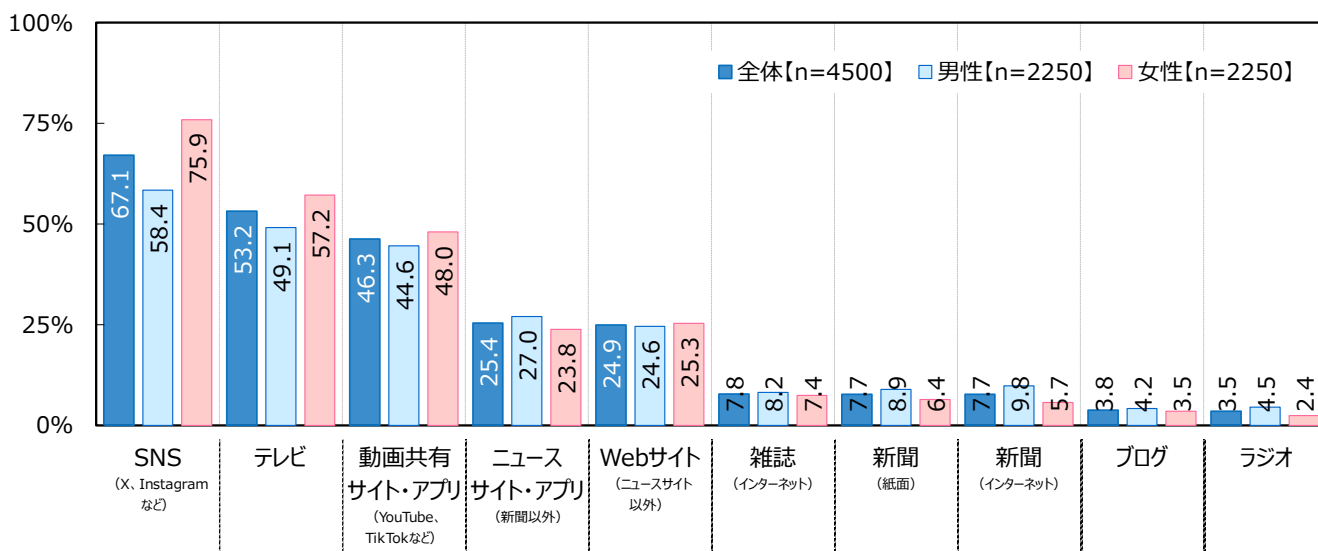
・勉強に関する情報を得るために欠かせないメディア 1位「動画共有サイト・アプリ」2位「SNS」3位「Web サイト」

・流行を知るために欠かせないメディア 「SNS」と「動画共有サイト・アプリ」が突出、女性では「SNS」が86%に

全回答者（4,500名）に、ニュースを知るために欠かせないメディアを聞いたところ、「SNS（X、Instagram など）」（67.1%）が最も高くなり、「テレビ」（53.2%）、「動画共有サイト・アプリ（YouTube、TikTok など）」（46.3%）、「ニュースサイト・アプリ（新聞以外）」（25.4%）、「Web サイト（ニュースサイト以外）」（24.9%）が続きました。ソーシャルメディアやテレビでニュースに接している人が多いことが明らかになりました。

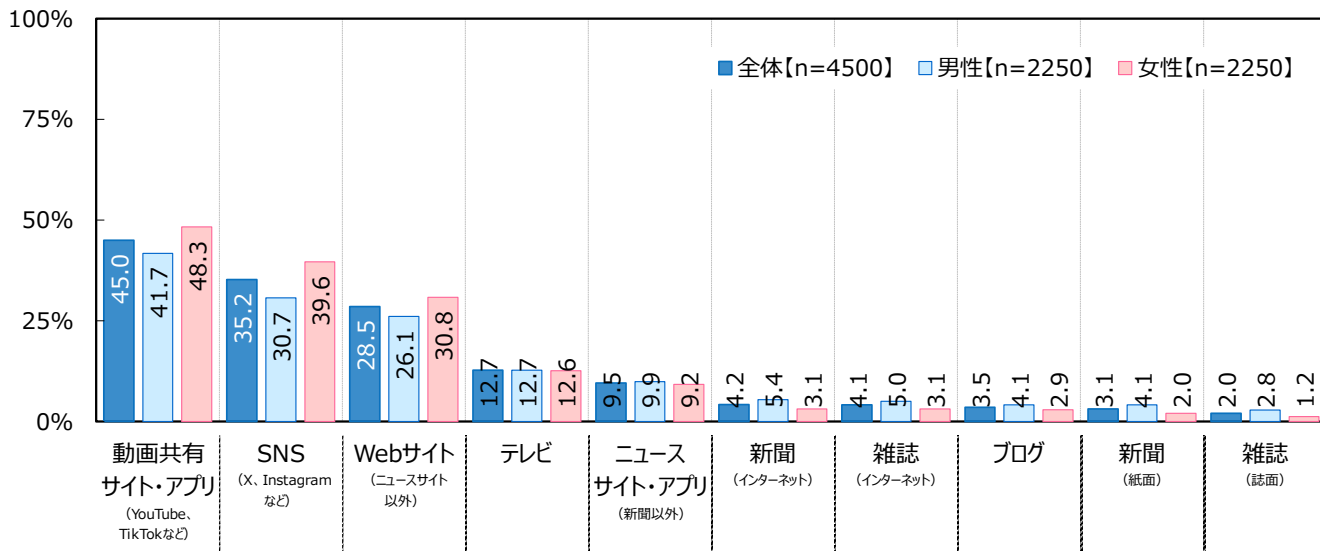
男女別にみると、女性では「SNS（X、Instagram など）」が75.9%と、男性（58.4%）と比べて17.5ポイント高くなりました。

◆ニュースを知るために欠かせないメディア（複数回答形式） ※上位10位までを表示



勉強に関する情報を得るために欠かせないメディアを聞いたところ、「動画共有サイト・アプリ（YouTube、TikTok など）」（45.0%）が最も高くなり、「SNS（X、Instagram など）」（35.2%）、「Web サイト（ニュースサイト以外）」（28.5%）が続きました。

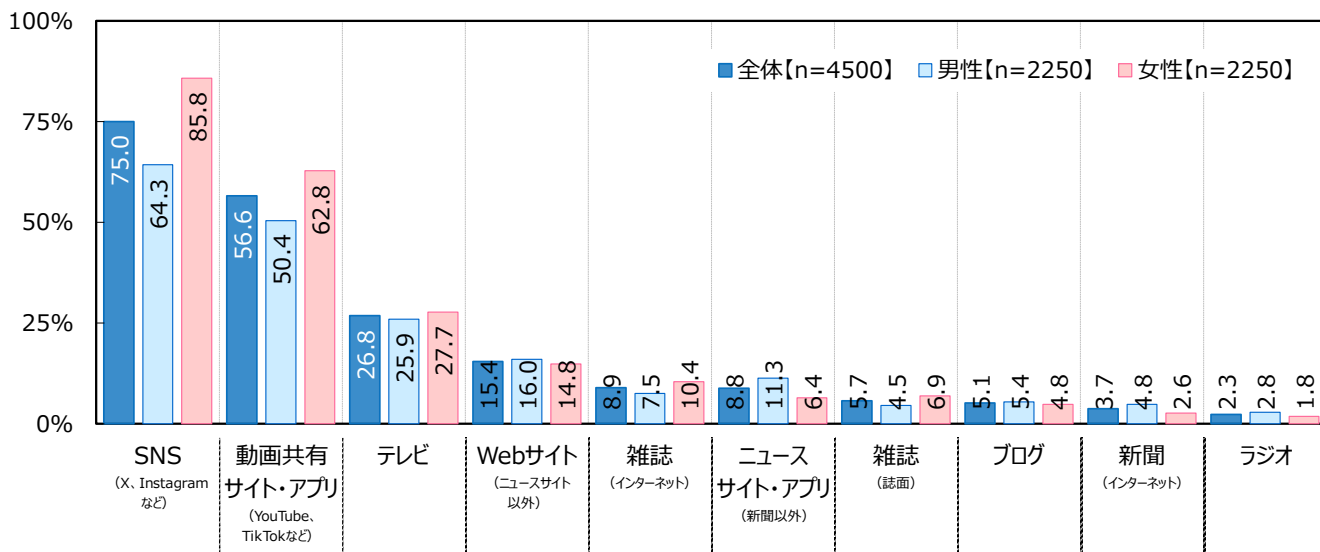
◆勉強に関する情報を得るために欠かせないメディア（複数回答形式） ※上位10位までを表示



流行を知るために欠かせないメディアを聞いたところ、「SNS（X、Instagram など）」（75.0%）と「動画共有サイト・アプリ（YouTube、TikTok など）」（56.6%）が突出して高くなりました。ソーシャルメディアが流行について知る際の主な情報源となっているようです。

男女別にみると、女性では「SNS（X、Instagram など）」が85.8%と、男性（64.3%）と比べて21.5ポイント高くなりました。

◆流行を知るために欠かせないメディア（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆隠し事について

- ・「父親に隠し事をしている」42%、隠し事の1位は「恋愛」、隠し事をしている理由の1位は「話すのがめんどくさい」
- ・「母親に隠し事をしている」40%、隠し事の1位は「恋愛」、隠し事をしている理由の1位は「話すのが恥ずかしい」

親への隠し事について質問しました。

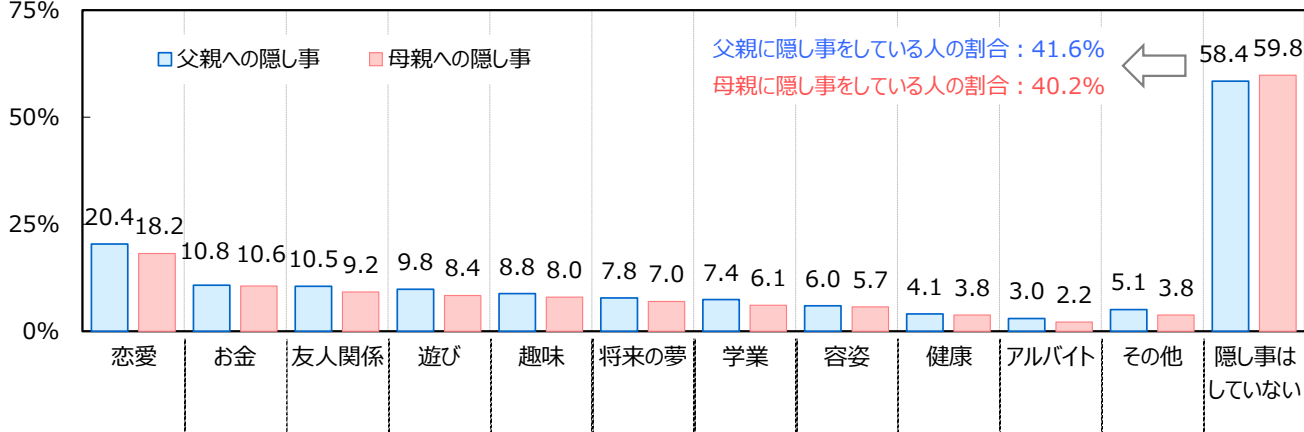
全回答者（4,500名）に、父親や母親に隠し事があるか聞いたところ、「父親に隠し事をしている」人の割合が41.6%、「母親に隠し事をしている」人の割合が40.2%となり、「父親に隠し事をしていない」人の割合は58.4%、「母親に隠し事をしていない」人の割合は59.8%となりました。父親や母親とオープンなコミュニケーションを取っている高校生が多いようです。

何についての隠し事をしているか聞いたところ、「恋愛」（父親20.4%、母親18.2%）が最も高くなり、「お金」（父親10.8%、母親10.6%）、「友人関係」（父親10.5%、母親9.2%）、「遊び」（父親9.8%、母親8.4%）、「趣味」（父親8.8%、母親8.0%）が続きました。

◆父親や母親に隠し事があるか。ある場合は何についての隠し事か（各複数回答形式）

全体[n=4500]

75%



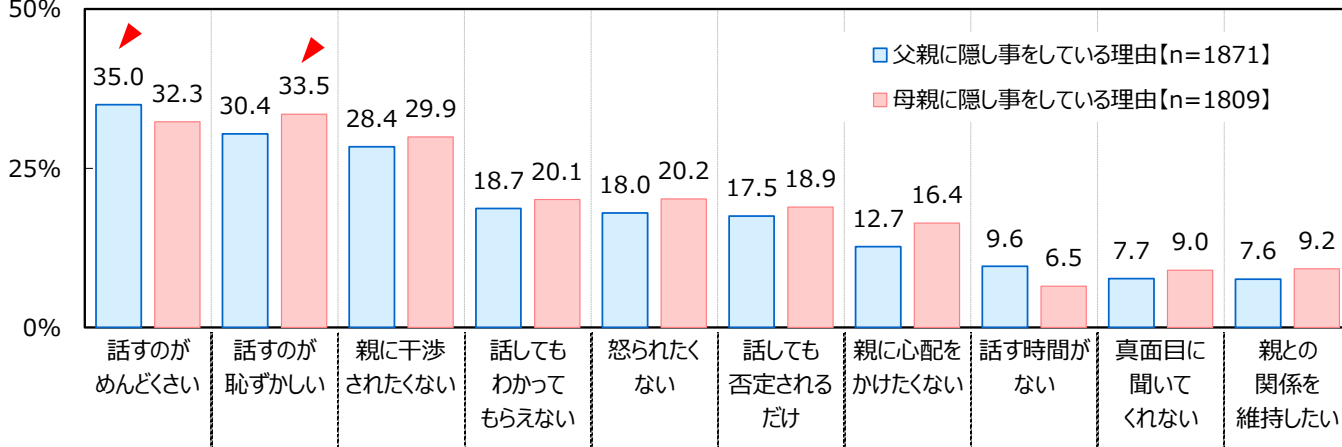
父親に隠し事をしている方（1,871名）に、隠し事をしている理由を聞いたところ、「話すのがめんどくさい」（35.0%）が最も高くなり、「話すのが恥ずかしい」（30.4%）、「親に干渉されたくない」（28.4%）が続きました。

他方、母親に隠し事をしている方（1,809名）に、隠し事をしている理由を聞いたところ、「話すのが恥ずかしい」（33.5%）が最も高くなり、「話すのがめんどくさい」（32.3%）、「親に干渉されたくない」（29.9%）が続きました。

◆父親に隠し事をしている理由／母親に隠し事をしている理由（各複数回答形式） ※父親に隠し事をしている理由の上位10位までを表示

対象：父親に隠し事をしている方／母親に隠し事をしている方

50%



◆恋愛・結婚観について

・「これまでに、恋人がいたことがある」 52%

・「現在、恋愛をしている」 43%、「現在、恋人がいる」 18%

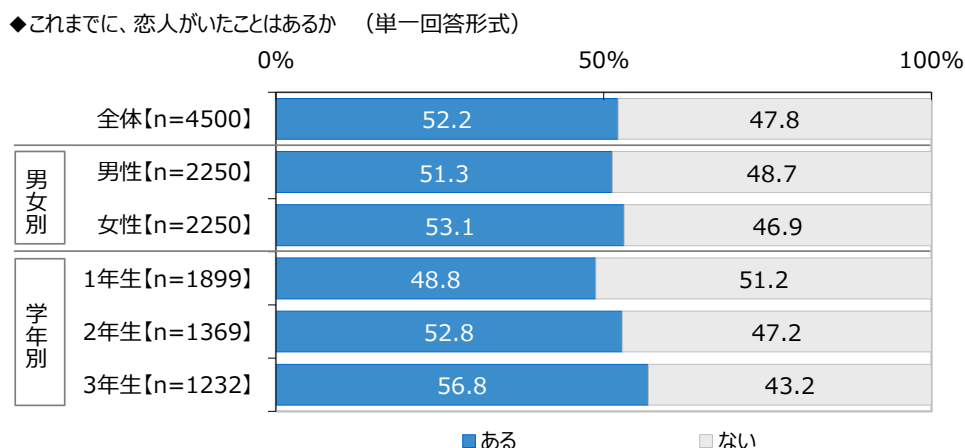
・「これまでに、蛙化現象を経験したことがある」 女性の30%、男性の約2倍に

恋愛経験や意識、結婚観について質問しました。

まず、全回答者（4,500名）に、これまでに、恋人がいたことはあるか聞いたところ、「ある」は52.2%、「ない」は47.8%となりました。コロナ禍の影響を受けてリアルなコミュニケーションや活動が減少していた時期を考慮すると、交際経験がある人の割合は今後上昇する可能性があるのではないのでしょうか。

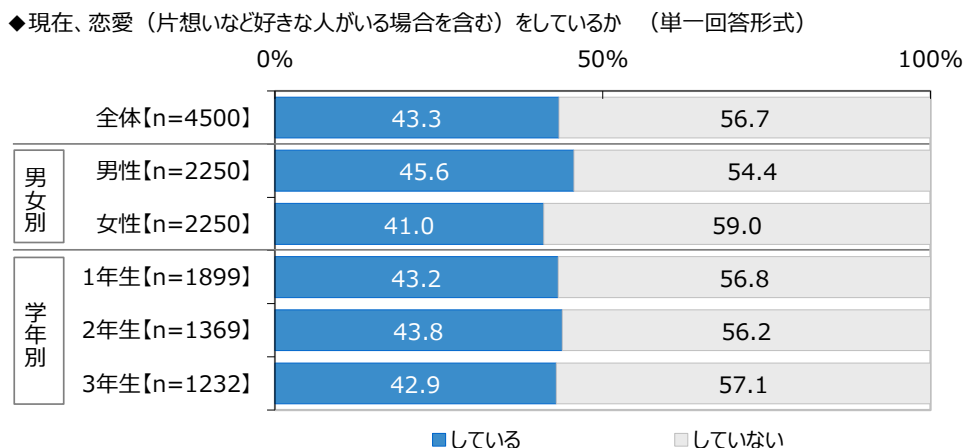
男女別にみると、「ある」と回答した人の割合は、男性51.3%、女性53.1%となりました。

学年別にみると、「ある」と回答した人の割合は、上の学年ほど高くなり、2年生（52.8%）と3年生（56.8%）では半数を超えました。



現在、恋愛（片思いなど好きな人がいる場合を含む）をしているか聞いたところ、「している」は43.3%、「していない」は56.7%となりました。

男女別にみると、「している」と回答した人の割合は、男性45.6%、女性41.0%となりました。

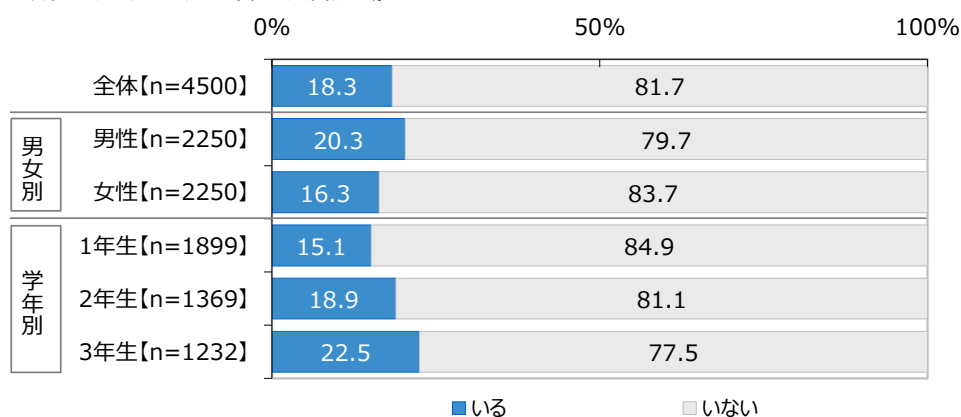


現在、恋人がいるか聞いたところ、「いる」は 18.3%、「いない」は 81.7%となりました。現在恋愛している人の割合（43.3%）と比べて、現在恋人がいる人の割合（18.3%）は 25.0 ポイント低くなっており、好きな人や気になる人がいるものの実際に恋愛関係にまで発展しているケースは多くないようです。

男女別にみると、「いる」と回答した人の割合は、男性 20.3%、女性 16.3%となりました。

学年別にみると、「いる」と回答した人の割合は、上の学年ほど高くなり、3 年生では 22.5%でした。

◆現在、恋人がいるか（単一回答形式）

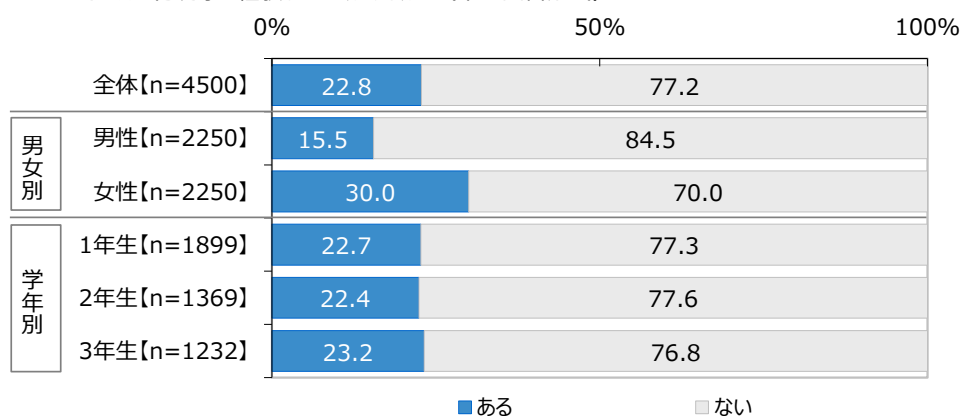


SNS などによく見聞きする“蛙化現象”について質問しました。蛙化現象とは、好きな人のささいな言動で好きな気持ちが冷めてしまうことをいいます。

これまでに、蛙化現象を経験したことがあるか聞いたところ、「ある」は 22.8%、「ない」は 77.2%となりました。

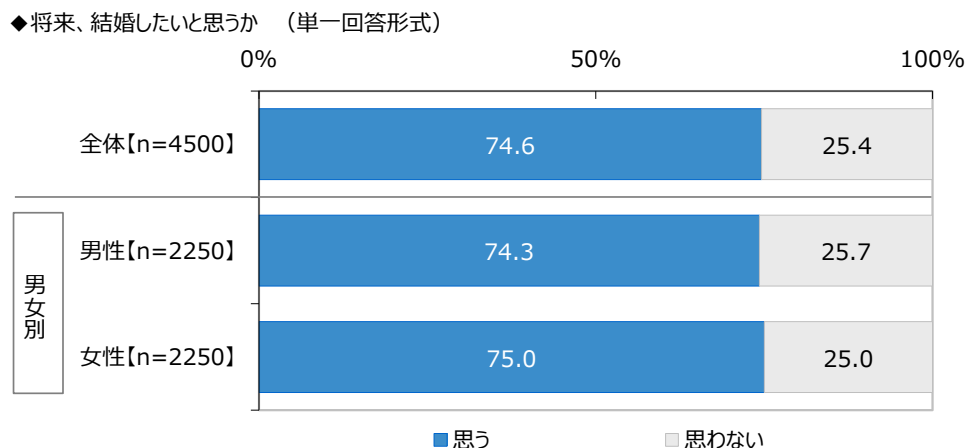
男女別にみると、「ある」と回答した人の割合は、女性では 30.0%と、男性（15.5%）の約 2 倍になりました。男性は、幻滅されないよう、好きな女性に対する言動や振る舞いには気をつけたほうがよいのかもしれませんが。

◆これまでに、蛙化現象を経験したことがあるか（単一回答形式）



・「将来、結婚したい」 75%、結婚したい年齢は平均 25.2 歳

全回答者（4,500 名）に、将来、結婚したいと思うか聞いたところ、「思う」は 74.6%、「思わない」は 25.4%となりました。



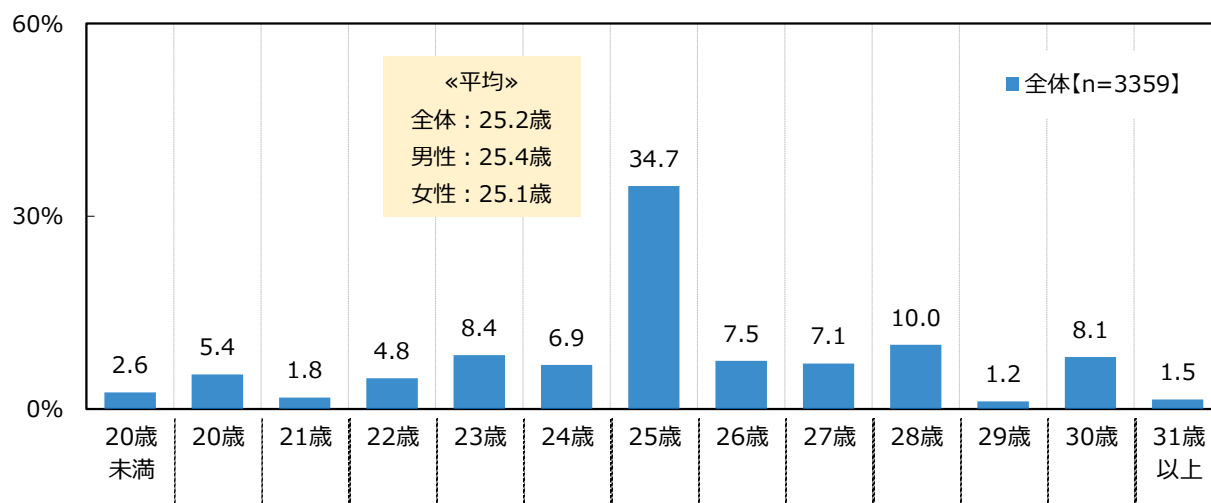
将来結婚したい方（3,359 名）に、何歳のときに結婚したいか聞いたところ、「25 歳」（34.7%）に最も多くの回答が集まり、平均は 25.2 歳でした。

男女別にみると、結婚したい年齢の平均は、男性 25.4 歳、女性 25.1 歳でした。厚生労働省発表の令和 4 年（2022）人口動態統計月報年計（概数）の概況（※）では平均初婚年齢は男性 31.1 歳、女性 29.7 歳となっており、今の高校生は統計データの平均よりも若い年齢を結婚適齢期と考えているようです。

※<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai22/dl/gaikyouR4.pdf>

◆何歳のときに結婚したいか（数値入力形式）

対象：将来結婚したい方

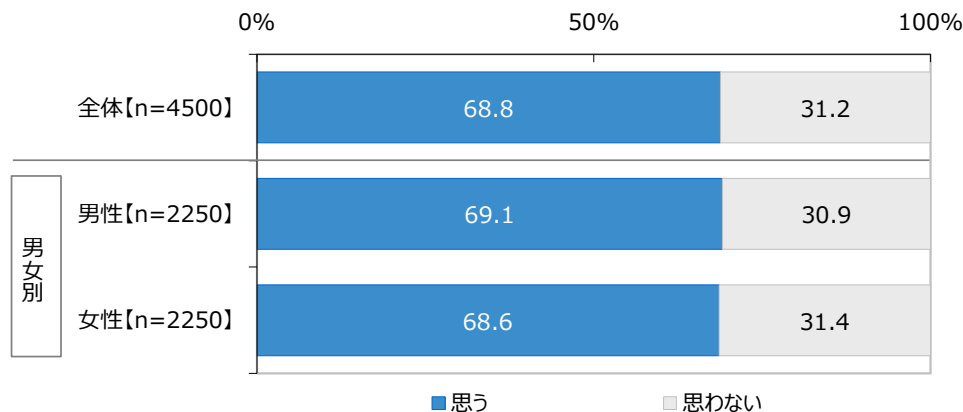


・「将来、子どもをほしいと思う」69%

・将来、子どもをほしいと思う人の割合が高い都道府県 1位「熊本県」2位「宮崎県」「沖縄県」

全回答者（4,500名）に、将来、子どもをほしいと思うか聞いたところ、「思う」は68.8%、「思わない」は31.2%となりました。

◆将来、子どもをほしいと思うか（単一回答形式）



都道府県別にみると、将来子どもをほしいと思う人の割合は、熊本県（85.5%）が最も高くなり、宮崎県と沖縄県（いずれも79.5%）が続きました。

◆将来、子どもをほしいと思う人の割合（単一回答形式）

順位	都道府県 (n)	%	順位	都道府県 (n)	%	順位	都道府県 (n)	%
1位	熊本県 (n=55)	85.5	12位	富山県 (n=40)	72.5	24位	秋田県 (n=56)	69.6
2位	宮崎県 (n=39)	79.5	13位	兵庫県 (n=231)	72.3	25位	徳島県 (n=13)	69.2
	沖縄県 (n=44)	79.5	14位	青森県 (n=86)	72.1		愛媛県 (n=39)	69.2
4位	山梨県 (n=17)	76.5	15位	香川県 (n=32)	71.9	27位	新潟県 (n=81)	69.1
5位	長野県 (n=89)	75.3	16位	石川県 (n=49)	71.4	28位	鹿児島県 (n=63)	68.3
6位	高知県 (n=12)	75.0	18位	岩手県 (n=104)	71.2	29位	福岡県 (n=151)	68.2
7位	鳥取県 (n=31)	74.2	19位	北海道 (n=217)	71.0	30位	千葉県 (n=185)	68.1
8位	群馬県 (n=64)	73.4	20位	三重県 (n=72)	70.8		山口県 (n=47)	68.1
	大阪府 (n=256)	73.4	21位	福井県 (n=37)	70.3	32位	栃木県 (n=71)	67.6
10位	島根県 (n=26)	73.1	22位	広島県 (n=100)	70.0		東京都 (n=380)	67.6
11位	岐阜県 (n=88)	72.7	23位	京都府 (n=99)	69.7	34位	宮城県 (n=110)	67.3
						35位	山形県 (n=72)	66.7
						36位	神奈川県 (n=271)	66.4
						37位	埼玉県 (n=268)	65.7
						38位	茨城県 (n=90)	65.6
						39位	愛知県 (n=268)	64.9
						40位	長崎県 (n=51)	64.7
						41位	滋賀県 (n=53)	64.2
						42位	和歌山県 (n=27)	63.0
						43位	佐賀県 (n=34)	61.8
						44位	奈良県 (n=46)	60.9
						45位	静岡県 (n=155)	60.6
							大分県 (n=33)	60.6
						47位	福島県 (n=78)	60.3

*n数が30未満の都道府県は参考値

◆友だちについて

・“友だち”は何人いる？ 平均 81.7 人、男性では平均 99.2 人、女性では平均 64.1 人

・「親友がいる」 85%、平均 4.7 人

・「本当は苦手な友だちがいる」 64%、平均 5.0 人

・「間違いを指摘できる友だちがいる」 89%、平均 14.8 人

・「SNS だけでつながっている友だちがいる」 51%、平均 22.7 人

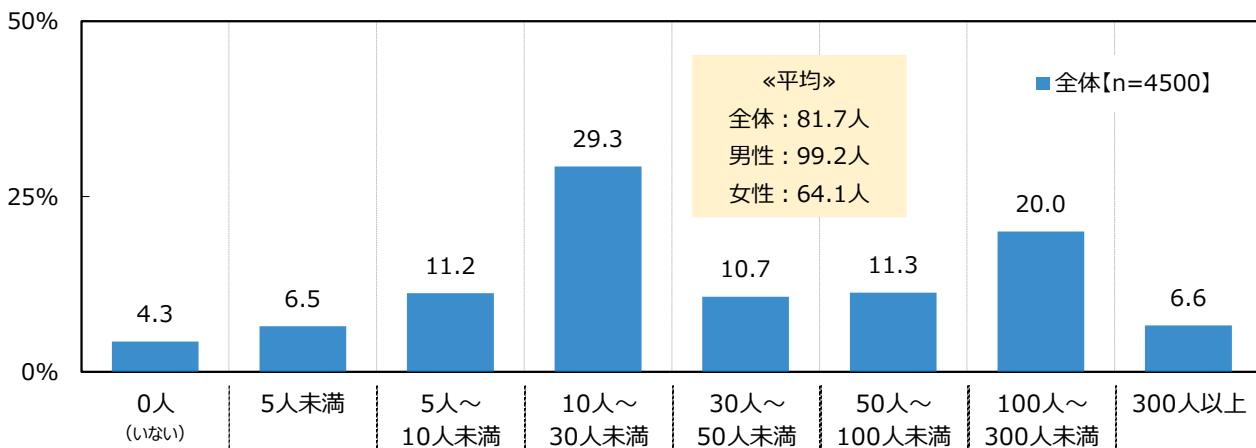
・「恋人より優先したい友だちがいる」 75%、平均 6.8 人

友だちとの関係について質問しました。

全回答者（4,500 名）に、“友だち”は何人いるか聞いたところ、「10 人～30 人未満」（29.3%）や「100 人～300 人未満」（20.0%）に多くの回答が集まり、平均は 81.7 人でした。

男女別に平均をみると、男性では 99.2 人と、女性（64.1 人）と比べて 35.1 人多くなりました。

◆“友だち”は何人いるか（数値入力形式）

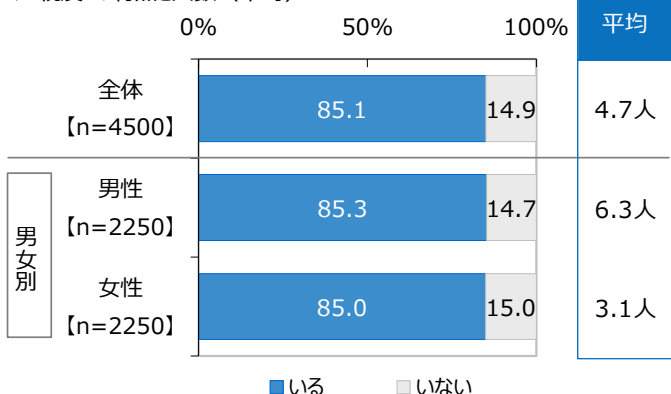


また、さまざまな“友だち”のパターンを提示し、それぞれ何人いるか聞いたところ、【親友】では「いる」は 85.1%、平均は 4.7 人でした。

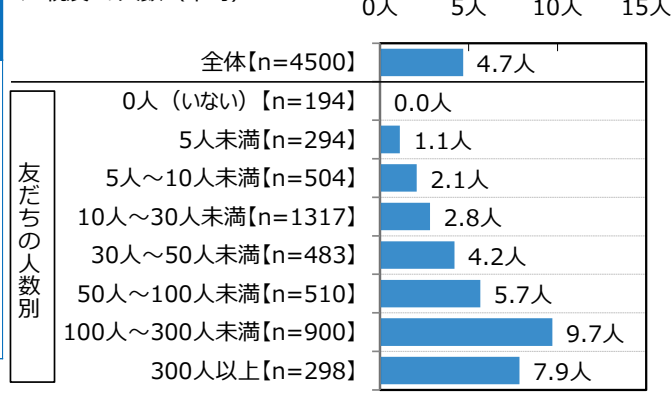
男女別に平均をみると、男性では 6.3 人、女性では 3.1 人と男性のほうが多くなりました。

友だちの人数別に平均をみると、友だちの人数が 100 人～300 人未満の人では 9.7 人、友だちの人数が 300 人以上の人では 7.9 人と、友だちが 100 人以上の人でも親友の人数の平均は 10 人以下という結果となりました。

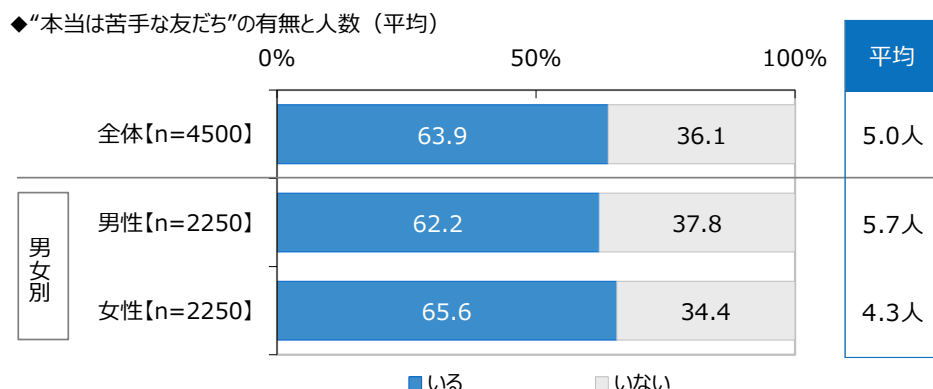
◆“親友”の有無と人数（平均）



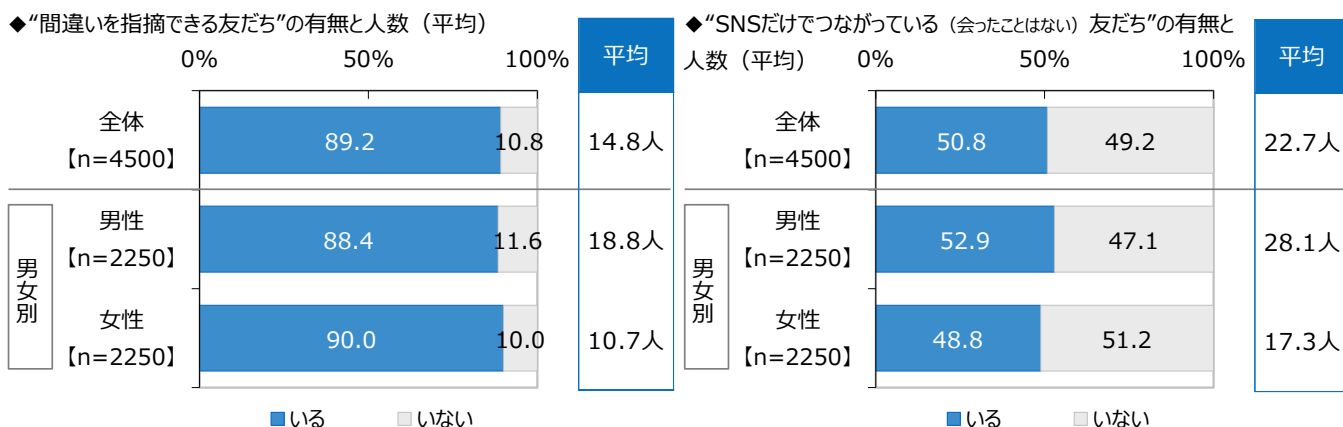
◆“親友”の人数（平均）



【本当は苦手な友だち】では「いる」は 63.9%、平均は 5.0 人でした。
男女別にみると、男性では平均 5.7 人、女性では平均 4.3 人となりました。

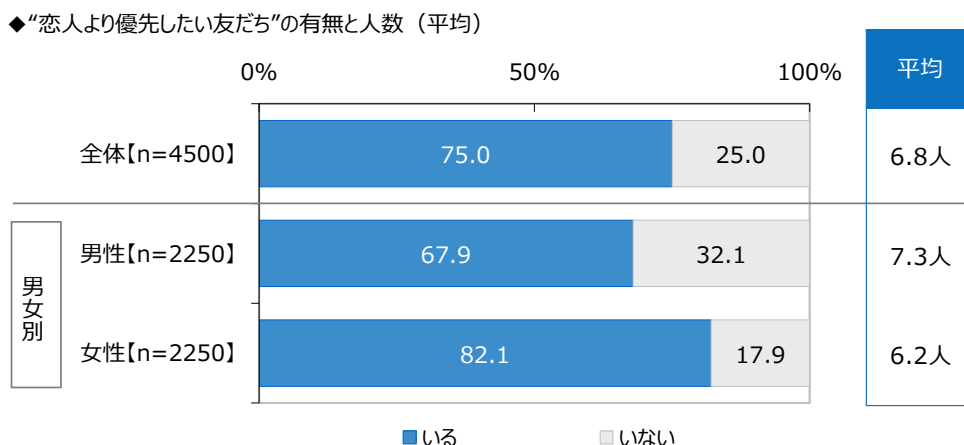


【間違いを指摘できる友だち】では「いる」は 89.2%、平均は 14.8 人でした。
男女別にみると、男性では平均 18.8 人と、女性（10.7 人）と比べて 8.1 人多くなりました。
【SNS だけでつながっている（会ったことはない）友だち】では「いる」は 50.8%、平均は 22.7 人でした。
男女別にみると、男性では平均 28.1 人と、女性（17.3 人）と比べて 10.8 人多くなりました。



【恋人より優先したい友だち】では「いる」は 75.0%、平均は 6.8 人でした。
男女別にみると、「いる」と回答した人の割合は、女性では 82.1%と、男性（67.9%）と比べて 14.2 ポイント高くなりました。

【友だち】の結果とあわせてみると、男性では【友だち】は平均 99.2 人、【恋人より優先したい友だち】は平均 7.3 人、女性では【友だち】は平均 64.1 人、【恋人より優先したい友だち】は平均 6.2 人と、女性のほうが両者の差が小さくなりました。女性には、友だち一人ひとりより深い交友関係や友情を築こうとしている人が多いのかもしれませんが。



・“親友”とはどのような友だちだと思う？

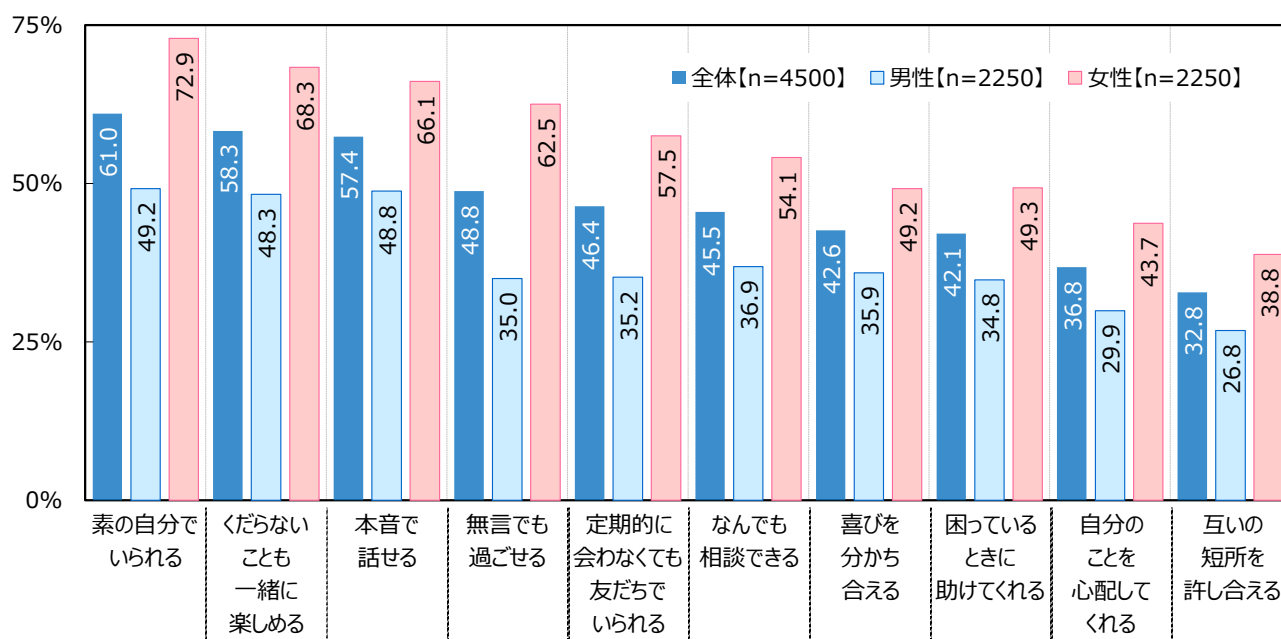
1 位「素の自分でいられる」2 位「くだらないことも一緒に楽しめる」3 位「本音で話せる」

続いて、“親友”に対するイメージについて質問しました。

全回答者（4,500 名）に、“親友”とはどのような友だちか聞いたところ、「素の自分でいられる」（61.0%）が最も高くなりました。飾ることなく、ありのままの自分で向き合える友だちが親友だとイメージしている人が多いようです。次いで高くなったのは、「くだらないことも一緒に楽しめる」（58.3%）、「本音で話せる」（57.4%）、「無言でも過ごせる」（48.8%）、「定期的に会わなくても友だちでいられる」（46.4%）でした。

男女別にみると、女性では「素の自分でいられる」が 72.9%、「くだらないことも一緒に楽しめる」が 68.3%、「無言でも過ごせる」が 62.5%、「定期的に会わなくても友だちでいられる」が 57.5%と、男性（順に 49.2%、48.3%、35.0%、35.2%）と比べて 20 ポイント以上高くなりました。また、上位 10 項目すべてにおいて女性のほうが高くなっています。“親友”という存在に対して女性が求めるイメージは男性よりも多彩で幅が広いのではないのでしょうか。

◆“親友”とはどのような友だちか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆学校生活について

◆最も好きな教科 1位「保健体育」2位「数学」3位「地理・歴史」

学校で学ぶ教科や先生、学校生活について質問しました。

全回答者（4,500名）に、最も好きな教科を聞いたところ、1位「保健体育」（16.5%）、2位「数学」（15.9%）、3位「地理・歴史」（11.1%）、4位「国語」「外国語」（いずれも8.5%）となりました。

男女別にみると、男性では1位「数学」（18.5%）、2位「保健体育」（18.3%）、3位「地理・歴史」（13.1%）、4位「理科」（8.1%）、5位「外国語」（6.5%）、女性では1位「保健体育」（14.8%）、2位「数学」（13.4%）、3位「国語」（10.6%）、4位「外国語」（10.5%）、5位「芸術」（9.7%）となりました。

◆最も好きな教科（単一回答形式）

全体[n=4500]			男性[n=2250]			女性[n=2250]		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	保健体育	16.5	1位	数学	18.5	1位	保健体育	14.8
2位	数学	15.9	2位	保健体育	18.3	2位	数学	13.4
3位	地理・歴史	11.1	3位	地理・歴史	13.1	3位	国語	10.6
4位	国語	8.5	4位	理科	8.1	4位	外国語	10.5
	外国語	8.5	5位	外国語	6.5	5位	芸術	9.7
6位	芸術	6.5	6位	国語	6.3	6位	地理・歴史	9.1
7位	理科	6.4	7位	情報	3.7	7位	理科	4.6
8位	家庭科	3.1	8位	芸術	3.3	8位	家庭科	4.4
9位	情報	2.7	10位	公民	3.3	9位	公民	1.8
10位	公民	2.6		家庭科	1.7	10位	情報	1.6
	その他	2.8		その他	2.3		その他	3.2
	特になし	15.5		特になし	14.8		特になし	16.2

因みに、2023年に実施した、教員を対象とした調査（以下「教員調査2023」※）の結果では、子どもの頃に好きだった教科の1位は「算数・数学」、2位は「体育」、3位は「社会」と、TOP3には高校生が挙げた教科（1位「保健体育」、2位「数学」、3位「地理・歴史」）と同様の教科がランクインしました。

<教員調査2023>

◆子どもの頃に好きだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体[n=2000]			男性[n=1000]			女性[n=1000]		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	算数・数学	22.1	1位	算数・数学	25.1	1位	算数・数学	19.1
2位	体育	18.8	2位	体育	20.1	2位	体育	17.4
3位	社会	12.3	3位	社会	16.6	3位	国語	15.6
4位	国語	10.4	4位	理科	10.8	4位	音楽	12.0
5位	理科	7.8	5位	国語	5.2	5位	英語	8.7
6位	音楽	7.1	6位	英語	4.4	6位	社会	7.9
7位	英語	6.6	7位	図工・美術	2.5	7位	図工・美術	7.1
8位	図工・美術	4.8	8位	音楽	2.1	8位	理科	4.8
9位	家庭科	1.2	9位	道徳	0.3	9位	家庭科	2.2
10位	道徳	0.3	10位	家庭科 / 技術	0.2	10位	道徳	0.3

※『教員の意識に関する調査2023』（2023年7月12日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20230712.pdf

・最も嫌いな教科 1位「数学」2位「外国語」3位「国語」

反対に、最も嫌いな教科を聞いたところ、1位「数学」（26.7%）、2位「外国語」（19.8%）、3位「国語」（10.1%）、4位「地理・歴史」（9.4%）、5位「理科」（8.1%）となりました。「数学」は“最も好きな教科”では2位と上位に挙がっており、人によって好き嫌いがはっきりしている教科のようです。

男女別にみると、男性・女性ともに1位は「数学」（男性22.4%、女性30.9%）、2位は「外国語」（男性21.2%、女性18.4%）となり、男性では「国語」（13.2%）が3位、女性では「地理・歴史」（11.4%）が3位でした。

◆最も嫌いな教科（単一回答形式）

全体【n=4500】			男性【n=2250】			女性【n=2250】		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	数学	26.7	1位	数学	22.4	1位	数学	30.9
2位	外国語	19.8	2位	外国語	21.2	2位	外国語	18.4
3位	国語	10.1	3位	国語	13.2	3位	地理・歴史	11.4
4位	地理・歴史	9.4	4位	地理・歴史	7.3	4位	理科	10.1
5位	理科	8.1	5位	理科	6.0	5位	国語	7.1
6位	保健体育	4.3	6位	芸術	4.0	6位	保健体育	5.0
7位	芸術	3.2	7位	保健体育	3.6	7位	情報	3.2
8位	公民	2.6	8位	公民	2.6	8位	公民	2.5
9位	情報	2.5	9位	家庭科	2.0	9位	芸術	2.4
10位	家庭科	1.2	10位	情報	1.9	10位	家庭科	0.4
	その他	1.4		その他	1.3		その他	1.4
	特になし	10.8		特になし	14.4		特になし	7.2

教員調査2023の結果では、子どもの頃に嫌いだった教科の1位は「算数・数学」となり、高校生（1位「数学」）と同様の教科が挙がりました。

男女別にみると、高校生の男性1位は「数学」だったのに対し、教員の男性1位は「国語」でした。

<教員調査2023>

◆子どもの頃に嫌いだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体【n=2000】			男性【n=1000】			女性【n=1000】		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	算数・数学	16.4	1位	国語	14.8	1位	算数・数学	21.6
2位	体育	16.0	2位	図工・美術	11.5	2位	体育	20.7
3位	国語	11.7	3位	算数・数学	11.2	3位	社会	14.7
4位	図工・美術	10.7		体育	11.2	4位	図工・美術	9.8
5位	社会	10.0	5位	音楽	10.1	5位	国語	8.6
6位	理科	7.6	6位	英語	8.0	6位	理科	8.5
7位	英語	6.3	7位	理科	6.6	7位	英語	4.5
	音楽	6.3	8位	社会	5.2	8位	音楽	2.4
9位	家庭科	1.0	9位	家庭科	1.5	9位	道徳	0.9
10位	道徳	0.9	10位	道徳	0.8	10位	家庭科	0.4

・最も大人になってから役立つと思う教科 1位「外国語」2位「国語」3位「家庭科」

最も大人になってから役立つと思う教科を聞いたところ、1位「外国語」（25.6%）、2位「国語」（15.2%）、3位「家庭科」（13.0%）、4位「数学」（9.8%）、5位「公民」（6.2%）となりました。英語をはじめとした外国語をしっかりと学び身につけることが、これから社会に出るうえで欠かせないと考えている人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性・女性ともに1位は「外国語」（男性22.0%、女性29.2%）となり、男性では「国語」（14.7%）が2位、「数学」（12.2%）が3位、女性では「家庭科」（17.8%）が2位、「国語」（15.7%）が3位でした。

◆最も大人になってから役立つと思う教科（単一回答形式）

全体[n=4500]			男性[n=2250]			女性[n=2250]		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	外国語	25.6	1位	外国語	22.0	1位	外国語	29.2
2位	国語	15.2	2位	国語	14.7	2位	家庭科	17.8
3位	家庭科	13.0	3位	数学	12.2	3位	国語	15.7
4位	数学	9.8	4位	家庭科	8.1	4位	数学	7.5
5位	公民	6.2	5位	公民	7.1	5位	公民	5.4
6位	情報	6.1	6位	情報	7.0	6位	情報	5.2
7位	保健体育	4.3	7位	保健体育	5.6	7位	保健体育	3.1
8位	地理・歴史	3.3	8位	地理・歴史	4.2	8位	地理・歴史	2.3
9位	理科	2.9	9位	理科	3.9	9位	理科	1.9
10位	芸術	1.1	10位	芸術	1.4	10位	芸術	0.7
	その他	0.9		その他	1.1		その他	0.8
	特になし	11.6		特になし	12.8		特になし	10.4

教員調査2023の結果では、子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科の1位は「算数・数学」、2位は「社会」、3位は「国語」となっていますが、高校生では「数学」が4位、「公民」は5位、「地理・歴史」は8位、「国語」は2位と教員と異なる傾向となりました。

<教員調査2023>

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体[n=2000]			男性[n=1000]			女性[n=1000]		
順位	教科	%	順位	教科	%	順位	教科	%
1位	算数・数学	18.3	1位	算数・数学	19.1	1位	社会	18.4
2位	社会	16.8	2位	社会	15.1	2位	算数・数学	17.5
3位	国語	9.1	3位	国語	10.3	3位	家庭科	12.0
4位	家庭科	8.7	4位	理科	6.1	4位	理科	9.1
5位	理科	7.6	5位	英語	6.0	5位	英語	8.4
6位	英語	7.2	6位	家庭科	5.3	6位	国語	7.9
7位	体育	1.4	7位	音楽	1.3	7位	体育	1.9
8位	道徳	1.3	8位	技術	1.1	8位	道徳	1.8
9位	技術	1.0	9位	保健	1.0	9位	技術	0.8
10位	音楽	0.8	10位	図工・美術 / 体育	0.9	10位	図工・美術 / 保健	0.5

・校内で好きな場所 「教室」がダントツ、2位「体育館」3位「トイレ」「図書室・図書館」

男性では「体育館」、女性では「図書室・図書館」が2位

全回答者（4,500名）に、校内で好きな場所を聞いたところ、「教室」（1,569名）がダントツとなり、2位「体育館」（247名）、3位「トイレ」「図書室・図書館」（いずれも239名）、5位「部室」（183名）と続きました。

教員調査2023の結果では、1位は「教室」となり、高校生と同じ場所が1位でした。学校で学ぶ生徒にとっても、学校で教える教員にとっても、自身の教室がお気に入りの場所となっているようです。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「教室」（男性803名、女性766名）となり、男性では「体育館」（148名）が2位、「トイレ」（108名）が3位、女性では「図書室・図書館」（152名）が2位、「トイレ」（131名）が3位でした。

男女別のTOP3の理由をみると、男性の場合、「教室」では「にぎやかで居心地が良い」や「クラスの雰囲気が好き」、「安心して過ごせる」、「体育館」では「スポーツを友だちと楽しめる」や「身体を動かせる」、「トイレ」では「1人で落ち着ける」や「一番落ち着く」といった回答が挙がりました。また、女性の場合、「教室」では「みんなでわいわいするのが楽しい」や「自分の席が一番落ち着く」、「一番長く過ごす場所」、「図書室・図書館」では「静かで勉強に集中できる」や「本を読むのが好き」、「トイレ」では「静かでリラックスできる」や「1人になれる」といった回答が挙がりました。

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体[n=4500]			全体[n=2000]		
順位	場所	名	順位	場所	名
1位	教室	1569	1位	教室	701
2位	体育館	247	2位	職員室	152
3位	トイレ	239	3位	校庭・グラウンド	123
	図書室・図書館	239	4位	図書室・図書館	107
5位	部室	183	5位	体育館	79
6位	校庭・グラウンド	133	6位	教科準備室・研究室	55
7位	屋上	103	7位	音楽室	44
8位	食堂・カフェテリア	97	8位	トイレ	39
9位	中庭	87	9位	保健室	39
10位	音楽室	71	10位	理科室	35

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位10位までを表示

男性[n=2250]			女性[n=2250]				
順位	場所	名	理由（抜粋）	順位	場所	名	理由（抜粋）
1位	教室	803	にぎやかで居心地が良い/ クラスの雰囲気が好き/ 安心して過ごせる	1位	教室	766	みんなでわいわいするのが楽しい/ 自分の席が一番落ち着く/ 一番長く過ごす場所
2位	体育館	148	スポーツを友だちと楽しめる/ 身体を動かせる	2位	図書室・図書館	152	静かで勉強に集中できる/ 本を読むのが好き
3位	トイレ	108	1人で落ち着ける/ 一番落ち着く	3位	トイレ	131	静かでリラックスできる/ 1人になれる
4位	校庭・グラウンド	105	広くてリラックスできる	4位	部室	105	部活仲間といるのが楽しい
5位	図書室・図書館	87	集中して勉強できる	5位	体育館	99	広くて開放的な感じが好き
6位	部室	78	部活の仲間と交流できる	6位	中庭	54	自然が多くて落ち着く
7位	屋上	55	空気が良くて居心地が良い	7位	音楽室	51	青春が詰まった場所
8位	食堂・カフェテリア	54	美味しいものが食べられる	8位	保健室	49	心が落ち着く
9位	中庭	33	広くて気持ちが良い	9位	屋上	48	静かでストレス解消になる
10位	音楽室	20	音楽が好きで楽器があると落ち着く	10位	食堂・カフェテリア	43	たくさんの人に出会える
	廊下	20	他のクラスの人と話せる				

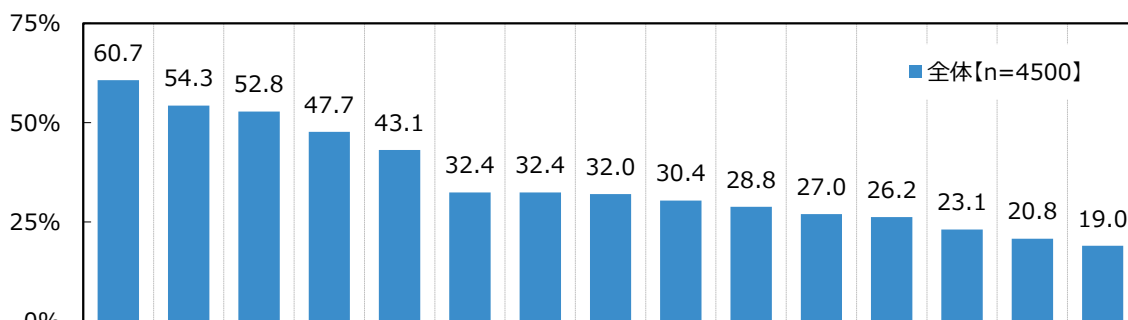
・自身の高校にある校則 1位「髪染めの禁止」2位「メイクの禁止」3位「アルバイトの禁止・制限」

校則について質問しました。

全回答者（4,500名）に、自身の高校にある校則を聞いたところ、「髪染めの禁止」（60.7%）が最も高くなり、「メイクの禁止」（54.3%）、「アルバイトの禁止・制限」（52.8%）、「スカートの長さ指定」（47.7%）、「アクセサリーの禁止」（43.1%）が続きました。

エリア別にみると、北陸・甲信越では「アルバイトの禁止・制限」（64.9%）、東海では「アルバイトの禁止・制限」（63.1%）と「自動車・バイクの運転免許取得禁止」（42.9%）、九州・沖縄では「眉加工の禁止」（40.9%）と「髪型・髪の長さの指定」（41.7%）が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆自身の高校にある校則（複数回答形式） ※上位15位までを表示



n数		髪染めの禁止	メイクの禁止	制限	アルバイトの禁止・制限	スカートの長さ指定	アクセサリーの禁止	パーマ・縮毛矯正の禁止	靴下の色・長さ指定	運転免許取得禁止	自動車のバイクの禁止	ネクタイ・カラー指定	眉加工の禁止	髪型・髪の長さの指定	整髪料の使用禁止	禁止の持ち込み	靴の指定	ヘアゴムの色指定
全体	4500	60.7	54.3	52.8	47.7	43.1	32.4	32.4	32.0	30.4	28.8	27.0	26.2	23.1	20.8	19.0		
エリア	北海道・東北	723	52.0	51.5	45.2	44.0	36.8	28.4	30.2	24.1	21.9	25.7	23.7	22.5	18.7	14.5	16.0	
	関東	1329	60.4	50.7	44.3	44.8	42.7	31.3	32.4	25.6	36.6	26.4	24.8	23.6	17.5	22.8	17.4	
	北陸・甲信越	313	63.9	55.3	64.9	45.7	41.2	34.8	25.9	31.0	22.4	25.9	25.2	24.9	24.0	16.0	13.7	
	東海	583	64.0	59.2	63.1	53.7	47.0	31.2	34.3	42.9	33.3	32.4	26.9	30.5	27.8	16.5	21.8	
	近畿	712	64.5	55.8	56.0	51.0	46.1	33.4	27.4	41.0	27.1	24.7	22.2	25.3	24.9	22.3	19.0	
	中国・四国	370	63.0	55.7	58.1	52.7	45.9	37.0	37.8	37.6	31.1	32.7	33.0	28.4	30.5	22.7	23.5	
	九州・沖縄	470	60.9	58.5	58.9	46.8	43.8	36.4	41.3	31.7	32.3	40.9	41.7	33.8	30.6	30.0	24.3	

■全体比+10pt以上/ ■全体比+5pt以上/ ■全体比-5pt以下/ ■全体比-10pt以下 (%)

◆自身の高校にある校則のうち、なくしてほしいものは？

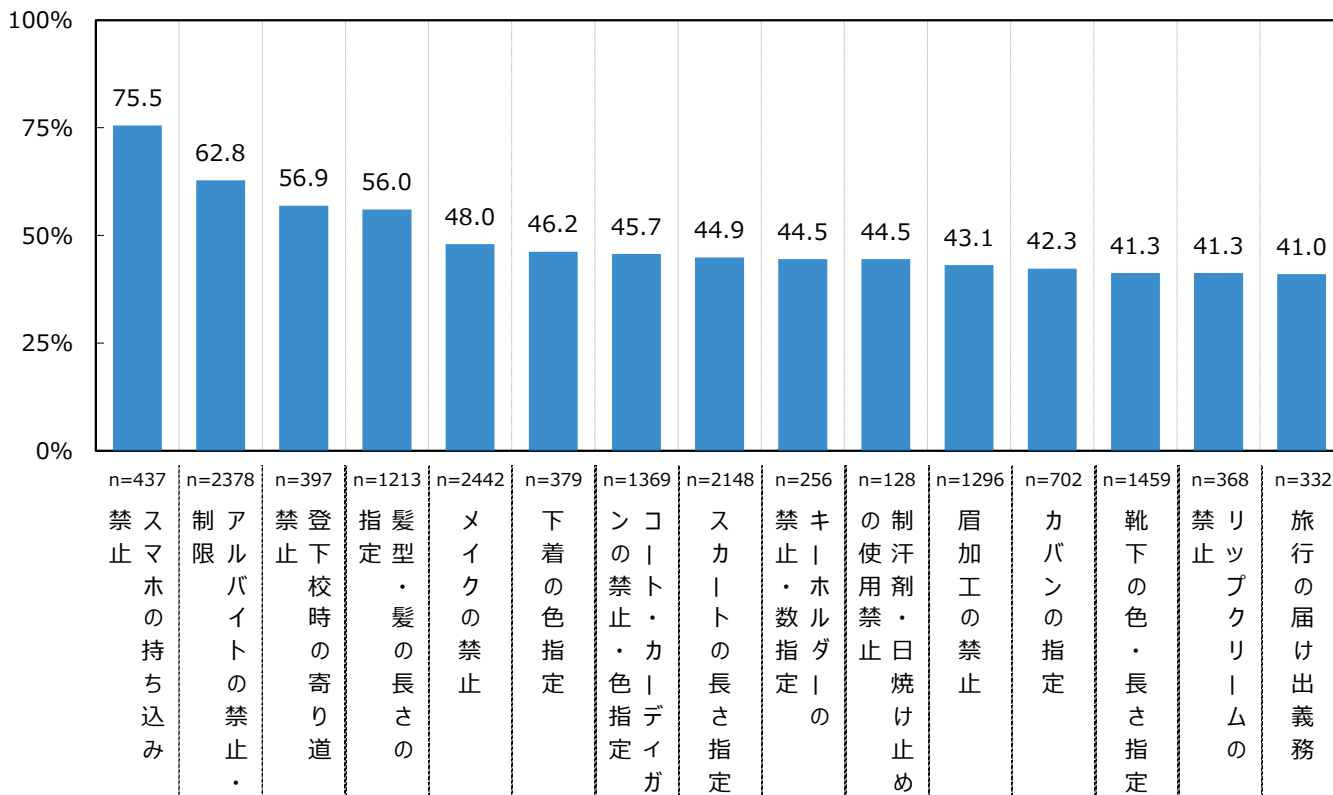
1位「スマホの持ち込み禁止」2位「アルバイトの禁止・制限」3位「登下校時の寄り道禁止」
「コート・カーディガンの禁止・色指定」「スカートの長さ指定」「靴下の色・長さ指定」「カバンの指定」も上位に

では、校則として定められているものの、“必要ない”と感じているのはどのようなものなのでしょうか。

自身の高校にある校則のうち、なくしてほしいと思う校則を聞いたところ、「スマホの持ち込み禁止」（75.5%）が最も高くなりました。コミュニケーションツールとしてスマホを自由に持ち込めるようにしてほしいと思っている人が多いようです。次いで、「アルバイトの禁止・制限」（62.8%）となりました。現在悩んでいることの1位が「お金」となっていること背景には、校則があるためにアルバイトを希望どおり行えないということがあるのではないのでしょうか。以降、「登下校時の寄り道禁止」（56.9%）、「髪型・髪の長さの指定」（56.0%）が続き、いずれも半数を超えました。また、「下着の色指定」（46.2%）や「コート・カーディガンの禁止・色指定」（45.7%）、「スカートの長さ指定」（44.9%）、「靴下の色・長さ指定」（41.3%）といった服装に関する校則、「キーホルダーの禁止・数指定」や「制汗剤・日焼け止めの使用禁止」（いずれも44.5%）、「カバンの指定」（42.3%）といった持ち物やケア用品の使用に関する校則も上位に挙がりました。

◆自身の高校にある校則のうち、なくしてほしいと思う校則（複数回答形式） ※なくしてほしいと思う人の割合が高い順に上位15位までを表示

*自身の高校にそれぞれの校則がある人がベース



・高校生が考える理想の先生像

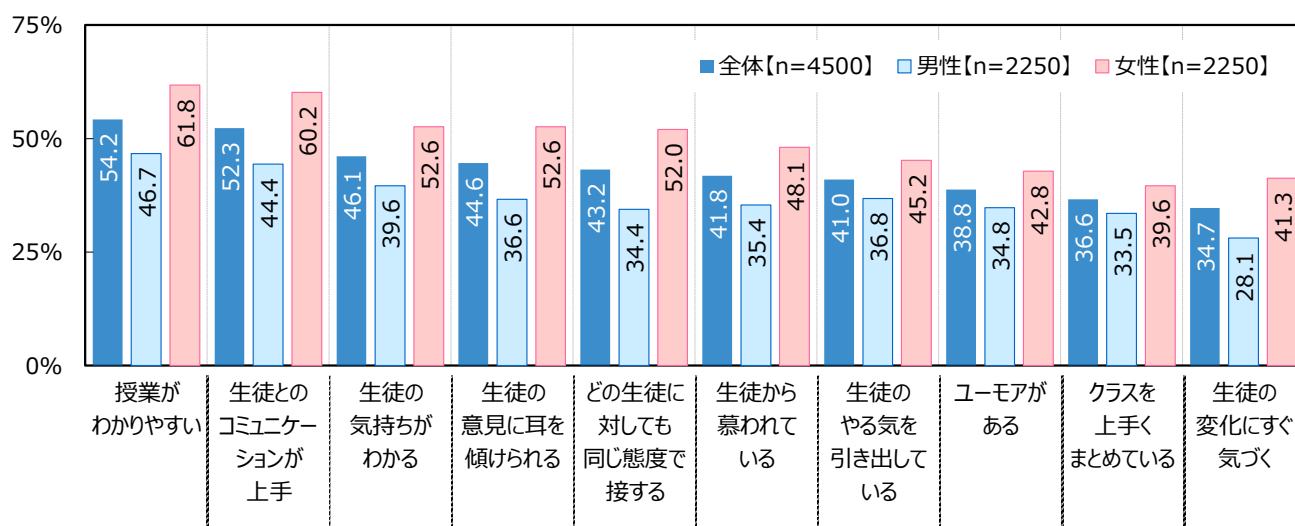
1位「授業がわかりやすい」2位「生徒とのコミュニケーションが上手」3位「生徒の気持ちわかる」

理想の先生のイメージについて質問しました。

全回答者（4,500名）に、理想の先生像を聞いたところ、「授業がわかりやすい」（54.2%）が最も高くなりました。教科書や参考書を読んだだけではわからないようなところなどについて、噛み砕いてわかりやすく教えてくれる先生を“理想の先生像”とイメージしている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「生徒とのコミュニケーションが上手」（52.3%）、「生徒の気持ちわかる」（46.1%）、「生徒の意見に耳を傾けられる」（44.6%）、「どの生徒に対しても同じ態度で接する」（43.2%）でした。

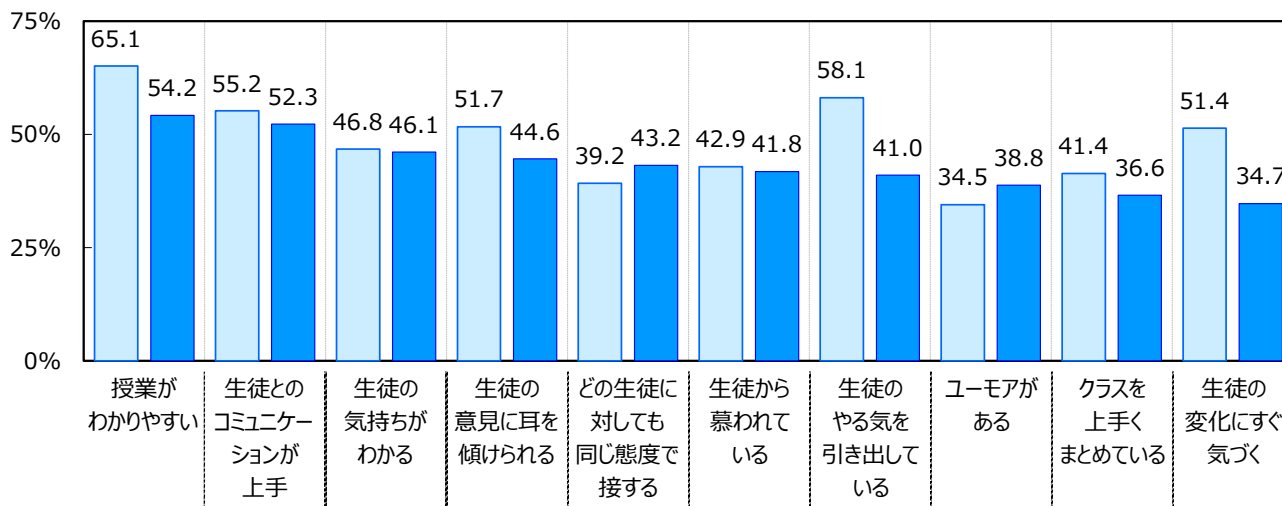
男女別にみると、女性では「授業がわかりやすい」（61.8%）や「生徒とのコミュニケーションが上手」（60.2%）、「生徒の意見に耳を傾けられる」（52.6%）、「どの生徒に対しても同じ態度で接する」（52.0%）が、男性（順に 46.7%、44.4%、39.6%、34.4%）と比べて15ポイント以上高くなりました。

◆理想の先生像（複数回答形式） ※上位10位までを表示



教員調査 2023 の結果では、理想の教員像 1 位は「授業がわかりやすい」となっており、高校生の結果と同じでした。

◆理想の教員像/理想の先生像（各複数回答形式） ※高校生の上位10位までを表示



・先生から言われて最もうれしかったコトバ

「頑張ったね・頑張っているね」がダントツ、2位「すごいね」3位「頑張って」

男性では「ありがとう」、女性では「すごいね」が2位

先生から言われて最もうれしかったコトバを聞いたところ、「頑張ったね・頑張っているね」（496名）がダントツとなり、2位「すごいね」（180名）、3位「頑張って」（155名）、4位「ありがとう」（153名）、5位「やればできる」（90名）と続きました。努力の結果や努力している姿に対する評価を直接伝えてもらい嬉しかったという人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「頑張ったね・頑張っているね」（男性180名、女性316名）となり、男性では「ありがとう」（95名）が2位、「すごいね」（93名）が3位、女性では「すごいね」（87名）が2位、「頑張って」（63名）が3位でした。

最もうれしかったコトバをもらったときの状況・エピソードをみると、1位の「頑張ったね・頑張っているね」では「テストで高得点をとったときに」や「進学先が決まったときに」、「受験勉強で教室に残っていたときに」、「オール5の成績をとったときに」といった回答がありました。

◆学校の先生から言われて最もうれしかったコトバ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4500】	名
1位	頑張ったね・頑張っているね	496
2位	すごいね	180
3位	頑張って	155
4位	ありがとう	153
5位	やればできる	90
6位	あなたならできる	88
	おめでとう	88
8位	優しいね	47
9位	よくやったね・よくやっているね	44
	いいね	37
10位	上手だね	37
	頼りにしているよ・頼りになるね	37

	男性【n=2250】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	頑張ったね・頑張っているね	180	テストで高得点をとったときに/進学先が決まったときに
2位	ありがとう	95	先生の手伝いをしたときに/ボランティア活動を手伝ったときに
3位	すごいね	93	県でトップの高校に合格したときに/テストで学年3位だったときに
4位	頑張って	92	部活の大会の前日に
5位	あなたならできる	53	生徒会の役員になることが決まったときに
	やればできる	53	数学のテストで学年1位をとったときに
7位	おめでとう	45	第一志望の高校に合格したときに
8位	よくやったね・よくやっているね	31	部活で自己ベストを更新したときに
9位	いいね	30	文化祭の出し物を作成していたときに
10位	頭がいいね	24	誰も解けなかった問題を解いたときに
	女性【n=2250】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	頑張ったね・頑張っているね	316	受験勉強で教室に残っていたときに/オール5の成績をとったときに
2位	すごいね	87	テストで高得点をとったときに/部活で優秀な成績を残したときに
3位	頑張って	63	受験前で焦っていたときに/部活の大きな大会の前日に
4位	ありがとう	58	学校行事の運営に携わっていたときに
5位	おめでとう	43	推薦入試で合格したときに
6位	やればできる	37	勉強で悩んでいることを相談したときに
7位	あなたならできる	35	部活の大会のときに
8位	優しいね	24	先生に相談事をしていたときに
	頼りにしているよ・頼りになるね	24	副学級長として学級長をサポートしたときに
10位	上手だね	23	授業で絵を描いていたときに

**・高校の“先生あるある” 1位「生徒に陰でモノマネされる」2位「声が隣の教室まで聞こえる」
3位「チャイムが鳴ったあとも授業を続ける」4位「授業中の雑談が長すぎる」5位「男女で態度がコロッと変わる」**

続いて、“先生あるある”について質問しました。

全回答者（4,500名）に、自身の高校の先生について、“あるある”だと思うことを聞いたところ、1位は「生徒に陰でモノマネされる」（33.4%）でした。先生の特徴をとらえて、生徒同士で先生のモノマネをしている人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「声が隣の教室まで聞こえる」（31.8%）、3位「チャイムが鳴ったあとも授業を続ける」（28.0%）、4位「授業中の雑談が長すぎる」（24.1%）、5位「男女で態度がコロッと変わる」（20.3%）、6位「字が汚くて読めない」（18.1%）、7位「テスト監督中にウトウトしている」（16.4%）、8位「チョークで点線を書くのがうまい」（16.0%）、9位「ダジャレやギャグを連発する」（15.9%）、10位「筆圧が強くチョークが折れる」（14.9%）となりました。

◆自身の高校の先生について、“あるある”だと思うこと（複数回答形式） ※上位15位までを表示

	全体【n=4500】	%
1位	生徒に陰でモノマネされる	33.4
2位	声が隣の教室まで聞こえる	31.8
3位	チャイムが鳴ったあとも授業を続ける	28.0
4位	授業中の雑談が長すぎる	24.1
5位	男女で態度がコロッと変わる	20.3
6位	字が汚くて読めない	18.1
7位	テスト監督中にウトウトしている	16.4
8位	チョークで点線を書くのがうまい	16.0
9位	ダジャレやギャグを連発する	15.9
10位	筆圧が強くチョークが折れる	14.9
11位	「声が小さい」と挨拶をやりなおさせる	14.7
12位	行事で張り切りすぎる	11.9
13位	いつもジャージを着ている	11.0
14位	黒板を消すのが早すぎる	10.4
15位	参観日や研究授業でキャラが変わる	9.6

◆理想の親のイメージについて

・父親にしたい有名人 1位「木村拓哉さん」2位「ムロツヨシさん」3位「吉沢亮さん」

・母親にしたい有名人 「橋本環奈さん」がダントツ、2位「新垣結衣さん」3位「広瀬すずさん」「今田美桜さん」

全回答者（4,500名）に、理想の親のイメージに合うと思う有名人について質問しました。

まず、父親にしたい有名人を聞いたところ、1位「木村拓哉さん」（198名）、2位「ムロツヨシさん」（128名）、3位「吉沢亮さん」（107名）、4位「菅田将暉さん」（91名）、5位「賀来賢人さん」（80名）となりました。

有名人を挙げた理由をみると、1位の「木村拓哉さん」では「ダメなところは厳しく叱ってくれそう」や「頼りがいがあってカッコいい」、2位の「ムロツヨシさん」では「優しくユーモアがあり、家族を大切にしてくれそう」、3位の「吉沢亮さん」では「カッコよく、頼りにもなる」といった回答がありました。

◆父親にしたい有名人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体【n=4500】

	男性有名人	名	理由（抜粋）
1位	木村拓哉	198	ダメなところは厳しく叱ってくれそう/ 頼りがいがあってカッコいい
2位	ムロツヨシ	128	優しくユーモアがあり、家族を大切にしてくれそう
3位	吉沢亮	107	カッコよく、頼りにもなる
4位	菅田将暉	91	多才な人だからいろいろ教えてくれそう
5位	賀来賢人	80	面白く、子ども思いのイメージ
6位	平野紫耀	76	優しく包容力がある
7位	山崎賢人	69	優しく家族思いのイメージ
8位	新田真劍佑	67	カッコよくて英語がペラペラ
9位	大谷翔平	61	将来の夢を叶える方法を教えてくれそう
10位	山田涼介	48	カッコよくて面倒見がよさそう

他方、母親にしたい有名人を聞いたところ、「橋本環奈さん」（344名）がダントツとなり、2位「新垣結衣さん」（140名）、3位「広瀬すずさん」「今田美桜さん」（いずれも117名）、5位「浜辺美波さん」（110名）と、20代・30代の女優が挙がりました。“友だち親子”といった、何でも相談できる親友のような関係を築けそうな人を、理想像として挙げた人が多いのではないのでしょうか。

有名人を挙げた理由をみると、1位の「橋本環奈さん」では「毎日笑って過ごせそう」や「楽しいことを一緒に笑ってくれそう」、2位の「新垣結衣さん」では「何でも優しく聞いてくれそう」、3位の「広瀬すずさん」では「一緒に楽しんでくれそう」、「今田美桜さん」では「優しいお母さんになりそう」といった回答がありました。

◆母親にしたい有名人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

全体【n=4500】

	女性有名人	名	理由（抜粋）
1位	橋本環奈	344	毎日笑って過ごせそう/ 楽しいことを一緒に笑ってくれそう
2位	新垣結衣	140	何でも優しく聞いてくれそう
3位	広瀬すず	117	一緒に楽しんでくれそう
	今田美桜	117	優しいお母さんになりそう
5位	浜辺美波	110	何でも聞いてくれ、寄り添ってくれそう
6位	石原さとみ	101	優しそうで、何でも相談に乗ってくれそう
7位	北川景子	98	品があって綺麗で、しつげがしっかりしていそう
8位	永野芽郁	92	かわいくて面白くて何でも相談できそう
9位	有村架純	57	叱るべきところは叱ってくれそう
10位	長澤まさみ	47	笑顔がかわいくて、子どもとの関わり方が上手そう

◆来年の流行の予想について

・来年ブレイクと思うお笑い芸人 1位「やす子さん」2位「かまいたち」「千鳥」

・来年ブレイクと思う歌手・アーティスト 1位「Adoさん」2位「Mrs. GREEN APPLE」3位「YOASOBI」

・来年流行ると思うアニメ・マンガ 1位「鬼滅の刃」2位「呪術廻戦」3位「ONE PIECE」

最後に、全回答者（4,500名）に、来年の流行について質問しました。

来年ブレイクと思うお笑い芸人を聞いたところ、元自衛隊員で自身の経歴を活かしたネタが人気の「やす子さん」（139名）が1位となり、2位「かまいたち」「千鳥」（いずれも93名）、4位「粗品さん」（59名）、5位「ジェラードン」（58名）と続きました。

男女別にみると、男性回答では「かまいたち」と「千鳥」（いずれも52名）が1位、女性回答では「やす子さん」（106名）がダントツでした。「やす子さん」は特に女性から支持されています。

◆来年ブレイクと思うお笑い芸人（自由回答形式）

※全体は上位5位、男女別は上位3位までを表示

	全体【n=4500】	名
1位	やす子	139
2位	かまいたち	93
	千鳥	93
4位	粗品	59
5位	ジェラードン	58

	男性【n=2250】	名
1位	かまいたち	52
	千鳥	52
3位	粗品	44

	女性【n=2250】	名
1位	やす子	106
2位	かまいたち	41
	千鳥	41

来年ブレイクと思う歌手・アーティストを聞いたところ、圧倒的な歌唱力を武器に多くのアニメやドラマ、映画の主題歌やテーマ曲を担当した「Adoさん」（191名）が1位となり、2位「Mrs. GREEN APPLE」（99名）、3位「YOASOBI」（73名）、4位「tuki.さん」（51名）、5位「Vaundyさん」（45名）と続きました。

また、来年流行ると思うアニメ・マンガを聞いたところ、1位「鬼滅の刃」（145名）、2位「呪術廻戦」（142名）、3位「ONE PIECE」（125名）、4位「薬屋のひとりごと」（112名）、5位「【推しの子】」（96名）となりました。

◆来年ブレイクと思う歌手・アーティスト

（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4500】	名
1位	Ado	191
2位	Mrs. GREEN APPLE	99
3位	YOASOBI	73
4位	tuki.	51
5位	Vaundy	45
6位	すとぷり	44
7位	SixTONES	41
8位	優里	39
9位	Stray Kids	36
	米津玄師	36

◆来年流行ると思うアニメ・マンガ

（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4500】	名
1位	鬼滅の刃	145
2位	呪術廻戦	142
3位	ONE PIECE	125
4位	薬屋のひとりごと	112
5位	【推しの子】	96
6位	葬送のフリーレン	83
7位	ハイキュー!!	82
8位	SPY×FAMILY	80
9位	ブルーロック	77
10位	怪獣8号	69

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 高校生の意識に関する調査 2023
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
15歳～18歳の高校生の男女
- ◆調査期間 : 2023年11月13日～11月20日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,500名（有効回答から、男女が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,250	2,250	4,500

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■ ■ 会社概要 ■ ■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563